



MEIJI UNV. JUDO CLUB  
PERIODICALS



明治大学柔道部明柔会会報

# 優勝!! 小川直也

“全日本学生柔道選手権大会”



## 青 春

青春とは、人生の或る期間をいうのではなく、心の様相をいうのである。すぐれた創造力、逞しく燃ゆる情熱、怯懦きよだつを退ける勇猛心、安易を振り捨てる冒險心。こういう様相を青春というのである。

年を重ねただけで、人は老いない。理想を失う時に、始めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に、精神はしばむ。苦悶や、狐疑や、不安、恐怖、そして失望。こういうものこそ人を老いさせ、精氣ある魂をも腐らせてしまう。年は七十歳であろうと、十八歳であろうと、その胸中に抱き得るものは何なのか。

いわく「驚異への愛慕心」。

空にきらめく星辰。その輝やきにも似たる事物や思惑への欽仰。

あらゆる事に処するに剛毅な闘志。小児の如く求めてやまぬ探究心。

人生への歓喜と興味。

人は信念とともに若く、疑惑とともに老いる。

人は自信とともに若く、恐怖とともに老いる。

人は希望ある限り若く、失望とともに老い朽ち去る。

明治維新文書より



# 決勝戦



## 明柔 (明治大学柔道部柔柔会会報) 目次

卷頭言	.....	部長 百瀬恵夫	1
殊勲!! 一年生・小川	.....	神永昭夫	6
はばたけ若鷹	.....	馬庭光伸	9
全日本学生選手権獲得祝賀会	.....	永吉勝憲	11
一五年四の同期会	.....	姿 節雄	12
シリアル便り	.....	小山賢司	15
旅行記	.....	伊藤 剛	17
柔道の旅——中近東遠征を終えて——	.....	渡辺英明	20
イラク共和国柔道指導記	.....	「抱負と反省」	20
学生新役員	.....	夏合宿	26
特別寄稿	.....	明柔会と実業団	26
明治大学柔道部と旭化成工業柔道部	.....	京葉ガス柔道部	26
明大柔道部と新日鐵	.....	明治大学柔道部と旭化成工業柔道部	26
激動の社会はスポーツマンを求めている	.....	丸谷武久	27
夏合宿	.....	松田滋夫	27
住所変更・訃報	.....	甲斐裕夫	29
マネージャーだより	.....	宮下 澪	29
原 吉美	.....	甲斐裕夫	31
渡辺英明	.....	丸谷武久	33
39 38 37 34 33 31	31	松田滋夫	33



元気でやっています……

明大柔道部修業時代を「今」思つ  
追憶文、義父長山一郎にひこり  
道場往来  
第32回 明柔会ゴルフコネ参戦記  
明大の技(8) 篠原一雄の足払い  
広報板  
第一部歌  
思い出の一枚  
私の身上書  
明柔人国記  
出身校シリーズ  
部広告(表)費裏広告依頼  
得意技の解説  
アジア大会柔道競技の報告  
編集後記

私達が日々の生活を送るうえで大切なことは、常に感謝の気持ちを忘れないことである。中国の故事であったと記憶するが、感謝を最も身近かな形で表わすことが親孝行であるといっている。親孝行のできる人は、常に原点に立って物事を考え方行動することのできる人であり、創造力を發揮することができる。不透明な時や不確実な時こそ原点に立ち返えて自我をみつめる姿勢が必要であろう。感謝の気持ちを忘れない人は、先輩や上司に卒直に教え導かれ 後輩や部下から敬愛される。

## 感謝と希望そして繁栄

部長

百瀬 恵夫

### 巻頭言

明大柔道部修業時代を「今」思つ 追憶文、義父長山一郎にひこり 道場往来 第32回 明柔会ゴルフコネ参戦記 明大の技(8) 篠原一雄の足払い 広報板 第一部歌 思い出の一枚 私の身上書 明柔人国記 出身校シリーズ 部広告(表)費裏広告依頼 得意技の解説 アジア大会柔道競技の報告 編集後記	佐藤 治 40 道場往来 第32回 明柔会ゴルフコネ参戦記 明大の技(8) 篠原一雄の足払い 広報板 第一部歌 思い出の一枚 私の身上書 明柔人国記 出身校シリーズ 部広告(表)費裏広告依頼 得意技の解説 アジア大会柔道競技の報告 編集後記
徳永三幸 54 金城孝治 56 小川登志雄 57 伊藤彰朗 64 百瀬恵夫 60 下瀬孝明 61 上村春樹 66 姿 節雄 66 80 69	徳永三幸 54 金城孝治 56 小川登志雄 57 伊藤彰朗 64 百瀬恵夫 60 下瀬孝明 61 上村春樹 66 姿 節雄 66 80 69
53 51 48 45 43 42	53 51 48 45 43 42

# 殊勲!!一年生・小川

## 一四年ぶりに王座奪回

柔道学生日本一を決める第三八回全日本学生柔道選手権大会は十一月九日、午前九時から大阪市中央体育馆で、地区予戦を経た七九選手が出席して、無差別級トーナメントで優勝が争われた。優勝候補の村上（日大）、野村（天理大）、ラシード勢が次々と消えていく中で決勝は本大会初の、小川（明大）、関根（東海大）の一人生対決となつた。両者とも決め手のないまま判定に持ち込まれた結果、終始攻勢にあつた小川が判定勝をおさめて栄冠に輝いた。

本大会に過去十四人の優勝者を出している明大ながら近年ピックタイトルに見離されて久しく二回戦大会に勝った上村春樹以来、実に一四年ぶりのタイトル奪回であつた。

又一年生の優勝は二八回大会の山下泰裕選手（東海大）以来、史上一人目である。

## 小川の闘志

### レスリング方式の判定を覆す

決勝戦高校時代に一度勝っている関根に対し、小川は終始攻撃の主導権をとつていた。特に、原助監督よりあと二分の

会場全体、かたずをのんで主審の判断を見守る中で、遠藤主審は即時の判定を見あわせ、両副審を呼んで協議の結果、小川を勝ちとした。

決勝戦の判定という事もあつたろうが、小川のファイトが審判団の申し合せを超えたと判断せざるを得ない。スポーツ各紙も決勝戦に於る小川の闘志を称えていた。

明柔にとって久々の明るい知らせである、この優勝が名門復活のスタートであることを祈念してやまない。

尚、小川は前日の学生東西対抗戦でも優秀選手（五人）の一人に選ばれている。

### 一回戦

小川（明大） 小外刈

柏田（松山商大）

開始直後柏田の左体落が、タイミングよく入り小川、有効をとられる。小川あせることなく二分すぎ小外刈にきめ逆転勝ち。

### 二回戦

小川（明大） 判定勝

鎧木（日体大）

優勝第一候補の村上（日大）を下した七八kg級チャンピオンの鎧木であつたが小川の一方的攻勢で判定勝ち。

### 三回戦

小川（明大） 判定勝

関根（東海大）

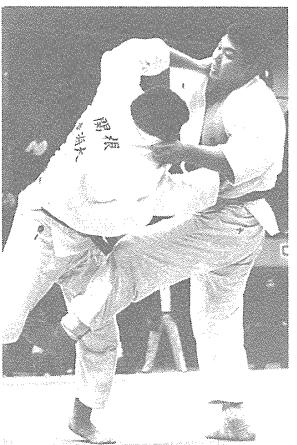
小川の大外刈がきついに決つたかに見えたが場外、中川、防戦一方になり、指導を受ける、三分すぎ小川、大内刈を返して効果をとる。その後も小川の一方的な攻勢で終る。

### 決勝戦

サインを受けてからは掛けぎみに対抗する相手にかけ寄って攻めに攻めまくった。しかし結局ポイントを取るに至らず終了。ほぼ、七・三で攻め勝ち膝もつかされていない小川の勝利はまちがいなしと、明治サイドはどうよめたが、意外にも旗は赤に分かれた。

今大会は旗が分かれた場合、体重測定を行ひ重量者を勝ちとする、レスリングや重量挙げの判定方式を、審判間の申し込みとして採用しており、事実、旗の分かれた十数試合の決定は皆これに従っていた。体重別大会九五kg超級優勝者、村上（日大）もこの判定法で敗退している。

登録では三kg小川が重く、それを知つておればこそ小川の攻撃であったと思うのだが、赤、白が出た瞬間、拍手の渦は東海サイドに移った。



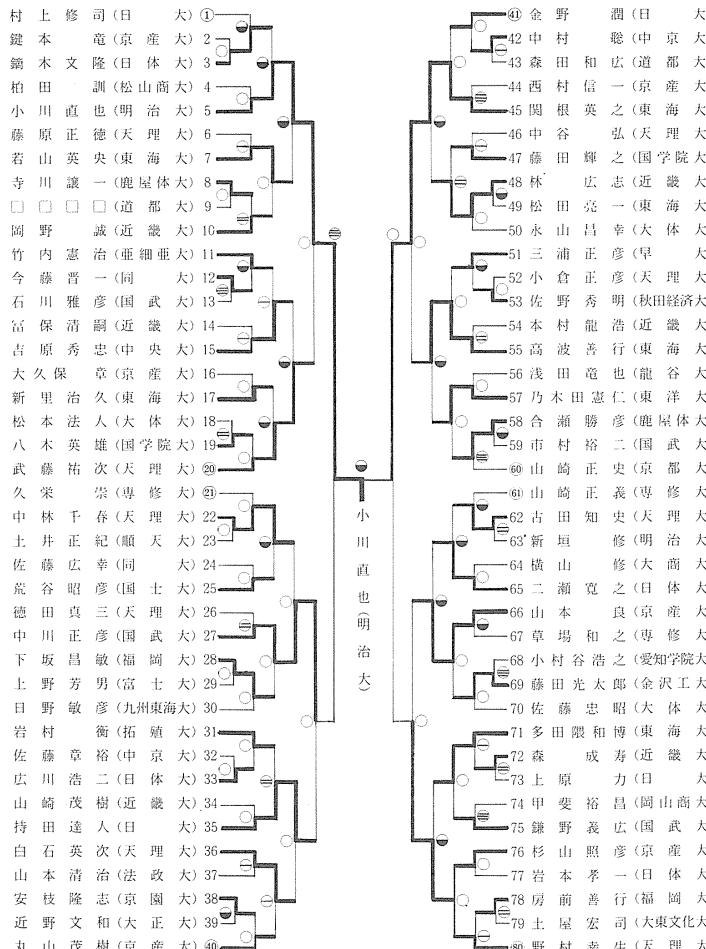
小川（明大） 判定勝 荘山（東海大）

東京学生体重別戦で若山に一本勝ちしている小川は、予選を持って戦い、相手の技を完全に封じて判定ながら優勝。

前日の東西対抗戦で小川と共に優秀選手に選ばれ、天理大団体戦のポイントゲッターの一人である武藤に対し、大外刈、支釣込足、大内刈と攻める、武藤も又、俊敏な払腰、大外刈で対抗意づまる技の掛け合いとなつた。四分、小川は武藤の大外刈をきれいに返したが上半身がややのこつて有効、しかし、そのまま、ケサ固にきめて一本とする。

小川（明大） 指導①効果① 中川（国際武道大）

# 第38回 全日本学生柔道選手権大会



小川直也。政経学部、一年。  
東京都出身、十九才。  
今春、明大入學、八王子高校を経て  
主なタイトル、国体団体優勝、(高校)、インターハイ代表。  
身長一九二、体重二二八kg。  
得意技、支釣込足、大外刈、払腰、寝技。  
八王子高校入後、同校教諭 小野実(明柔O)  
B、四〇年度、国柔館小野道場館長。にその素質を見い出されて柔道を始める。中学時代は剣道と野球をやっており、まだ四年に満たないキャラクターである。素質を見い出しスケール大きい。  
基本を教えた小野の指導力に敬意を表したい。

全日本学生柔道選手権大会				
明大関係優勝者				
工藤 穎	康	3年		茂夫
藤鷹 英	雄	"		成裕
橋本 年	弘	"		治
那須 一	郎	"		泰
早田 豊	昌	"		曾
渡辺 英	明	"		木
菅原 健	介	"		毅
以上 8名				
式段				
天 本 文	雄	2年		昭
1名				
初段				
小 林 誉	2年			正
1名				
計 10名				

小川体重差による僅差の場合の判定負けを意識して開始早々から支釣込足、大外刈、払腰と攻めまくるが、ポイントをとるに至らず、関根は組みきわみ腕をきめて体をあづける払巻込み邊倒でやや掛け逃げぎみ、大方の予想に反し旗は分かれたが、主審、副審、協議の上、小川の勝ちとなる。

# はばたけ若鷹

## 小川君の優勝におもう



去る十一月九日大阪市立中央体育館

に於て開催された全日本学生選手権会  
で小川直也二段が見事優勝した。

この快挙は、五一年の山下泰裕氏(東  
海大)以来二人目の一年生、学生日本

一である。明大柔道部が、この大会で  
の優勝は実に一四年振りのことであり、優勝した本人はもと  
より、柔道部としての喜びと感激は一人である。

勿論、恵まれた体躯(一九一センチ・一三〇kg)と日頃の  
努力精進が実ったのであるが、その陰には高校時代の恩師  
小野実先輩、大学に入学してから瀬部郎、姿勢、上位監  
督、原助監督を始め柔道部の先輩同僚の指導と協力があつ  
こそ達成されたものと思う。改めておめでとうと心からお祝  
い申し上げます。

この大会は、いつも大阪で試合を見ることが多いとして  
いたが今回は仕事の都合で行けなかつた。

九日の朝刊で、前日の東西対抗戦で小川二段が一人抜いて  
三人目當々と引分、東軍の勝利に貢献して優秀選手に選ばれ  
たことが載っていた。小川よく頑張ったなどの印象を受けた

が、眞逆、その小川君が優勝するとは夢想だにもしていなかつた。試合当日は珍らしく家に居て、TVで慶應戦のラグビーを見ていた所、渡辺英明マネージャーから興奮気味の電話  
があった、話し内容を詳述すると

「小川が学生選手権で勝ちました」、「えっ、あの一年の小川  
か、はいそうです、暫し絶句」、「本当に勝ちました」、「瞬間に勝ちました」、「それで氣を取り直して

試合内容はどうだった?」、「判定勝です」、副審の旗が紅白一色であつたが、遠藤主審が副審を集め協議の上、小川に優勝勝の判定を下しました、「それはよかったです」、この大会の申し合せとして判定が紅白に分れた場合は、お互いの体重差で決めることになつていて、そのまま判定されたら小川の体重が重いので危ないところでした。それにしてもよかったですね、おめでとう」、「はい嬉しいです、原先生も感激して男泣きをしました」、「そうだったんですね、彼が一番小川をしごいて鍛えたんだから、よくその気持が分るよ、原助監督にご苦労さんとよろしく伝えてよ」。

そんなやりとりをしながら電話を切つた。その後から段々と喜びが全身にあふれてきた。よかつた、よかつた、本当によかつた、低迷を続けていた柔道部があつたが、指導者、部員の力が集結した結果、この快挙に繋がり、暗闇に一条の光がさしかこんできたような明るい気分になってきた。さあ頑張るぞ、説けもなく体中に力が漲り瞬間学生時代に

舞い戻った気持になつた。

好美小川君この成績に驕ることなく初心を忘れない後も精進して頂きたい。そして両親から頂いた立派な体躯を最大限に生かし、誰に負けてない練習量と飽くなき探求心で天賦の素質を磨き充分力を發揮して欲しい。今後の君に期待するのは私一人だけではなく柔道部関係者全員の気持である。

はばたけ若鷹小川君目標を達成するまで翼を堂々と広げ、天空高く舞いあがつて、狙った獲物を確実につかめ。そのためには、目標を高く掲げ、その目標達成のため、計画を練り、それを着実に実行すること、そして実行した内容を反省して新たな目標をたてる。その繰り返しの連続が、最後も大切である。嘉納治五郎師範の教唆の中に「力必達」の言葉があるが、努力すれば必ず目標は達成できると云うことであり、決められたこと、教えられたことをそつなくこなさずとも努力したとは云えない。柔道の練習も、仕事をでも取り組むべき課題の内容を充分理解し、そのためには、何をいつまでどのようにすればよいかを見極め自ら実践することである。

つまり受身で動くのではなく、もっとよいやり方はないかを考え、積極的にすすめる工夫をすることが肝要である。誰ももって、自ら率先してやり遂げようとする意欲と行動力があれば自と道は開ける筈である。

小川君の今後いいよの活躍と飛躍を期待し、是非とも柔道部の夜明の明星となることを祈つてやまない次第である。

(三三年度 新日本鉄)

ランドスケープの空間の創造に  
わび・さびの  
落着とダイナミックさを  
表現する

日本公園施設協会会員  
株式会社 楽和

代表取締役 高田誠之助  
常務取締役 渡辺昌熙

〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2  
八丁堀ビル TEL 553-1201  
拠点地 東京・横浜・名古屋・福岡・大阪  
出張所 平塚・渋谷・船橋

ボタン・服飾附属  
鈴木商事有限公司

鈴木 強(46年度卒)  
足利市八幡町 82-12  
電話(0284) 4616-4617

石油製品販売・運送取扱業  
株式会社 三 建  
〒104 東京都中央区新川2-10-6  
カヤスマビル 201  
TEL 03-553-7553 (代表)  
小川 登志雄 (S33年度卒)

ジャムの専門メーカー  
JAS規格認定工場・輸出品卸承認工場  
株式会社 アドベ・ジャム

営業本社：東京・大阪・札幌・仙台 工場本社：三木(兵庫県)  
名古屋・福岡・松本 営業所：平塚・渋谷・船橋  
長野県松本市大字御賀5958番地 TEL 026-6881

# 全日本学生選手権獲得祝賀会

## 世界学生選手権大会出場

### 激励会・併せて納会



神田和夫氏の発声で乾杯

## 一五年目の同期会

馬庭 光伸

明太を昭和四七年に卒業して以来、全国各地に散らばった同期のきずなを深め、親睦を深めようということで過去に広島（五五年）、伊豆（五七年）、神戸（五九年）において同期会を行ってきました。

そして今回は九州の久留米において、一月三日に開催しました。現地のホテルに午後一時に集合し、さっそくマージャン大会を行いました。学生時代と変わらず好き勝手なことを言い合いながら和やかな中にも真剣勝負をしました。

今回は同期、一二名参加しましたが、特別ゲストとして学生時代お世話になった須磨先生（新日鉄－福岡）と横山酒店主人横山文雄さんにお参加いただき、午後六時から同ホテルにおいて大宴会を催し、第二次会、三次会と飲み、歌い、語り合ひ、夜遅くまで大いに楽しい時間を過ごしました。

ここで同期参加の面々の近況なり、同期会でのエピソード等を紹介してみたいと思います。



◎岩田久和（新日鉄－東京）

相変わらずの独特的語り口と顔に似あわない美声を聞かせていました。

◎堀原博見（旭化成－札幌）

すくないので鍛えたノードで、マイクを持ったら離さないには皆感心するやら、あきれるやら。

◎金谷洋志（製薬会社－高知）

明太を昭和四七年に卒業して以来、

全国各地に散らばった同期のきずなを深め、親睦を深めようということで過去に広島（五五年）、

伊豆（五七年）、神戸（五九年）において同期

会を行ってきました。

そして今回は九州の久留米において、一

月三日に開催しました。現地のホテルに午

後一時に集合し、さっそくマージャン大会を行いました。学生時代と変わらず好き勝手なことを言い合いながら和やかな中にも真剣勝負をしました。

今回は同期、一二名参加しましたが、特別

ゲストとして学生時代お世話になった須磨先

生（新日鉄－福岡）と横山酒店主人横山文雄

さんにお参加いただき、午後六時から同ホ

テルにおいて大宴会を催し、第二次会、三次会

と飲み、歌い、語り合ひ、夜遅くまで大いに

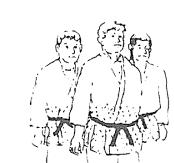
楽しい時間を過ごしました。

ここで同期参加の面々の近況なり、同期会でのエピソード等を紹介してみたいと思いま

す。

明で始まった。  
会場ホールは、待望  
久しかった後輩の優勝  
に喜ぶOB達の笑顔  
に満ち、いつにない樂  
しい歓談が時間一ぱい  
まで続いた。

世界学生大会出場の簇巻  
姿節雄明柔道会会長より  
小川へ  
新主将の橋本弘が抱  
負をのべた。予定した  
二時間が瞬時に過ぎ、八時、待ち望んだ優勝  
尚、席上、ブラジルへ向う兩氏に明柔会からせん別が贈ら  
れた。



世界学生大会出場の簇巻  
姿節雄明柔道会会長より  
小川へ

新主将の橋本弘が抱  
負をのべた。予定した  
二時間が瞬時に過ぎ、八時、待ち望んだ優勝  
尚、席上、ブラジルへ向う兩氏に明柔会からせん別が贈ら  
れた。

と皆見るも、相變らず浦上ラッパは響きわたつた。

#### ◎星野治ひろ（会社員・松戸）

最近、松戸の方に新築の家を購入したとか、我々も遊びのを控え見習いたいものだ。

#### ◎新家秀夫（自営・広島）

相変わらず二三〇キロの個体をゆすって、島弁を交え、ヨーロピアの差をみせ、満足を上り大勝。この度さらにはキャリアの差をみせ、役満をの店を開店とのこと、皆様も是非、立寄って下さい。

#### ◎馬庭光伸（島根県警・松江）

後から見ても、警察官らしい規律正しい姿に皆感心。

都合によりこの同期会に参加出来なかつたのは、河原月夫（警察大学校）、香川景政（国士計画）、利宗一（テレビ朝日）。の三名でした。

以上、簡単に紹介しましたが、結局皆「学生時代とあまり變りないなあ」と言つことになつた。喜ぶべきことが、悲しむべきことか。だが、一番心おきなく、飲みかつ話すことの出来る仲間である。最後に二年後は関東でまた会う約束をして別れました。

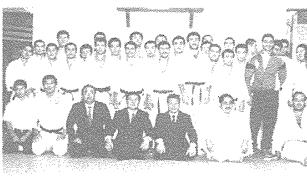
## シリアル便り

永吉 勝憲

39年度卒業の永吉と申します。現在、国際交流基金の派遣でシリアに滞在しておりますので今回は、シリアル便りをお送りします。さて皆さんシリアルと云う国の名前は、新聞、テレビ等で最近目にしている事だと思いますが、さてどの辺にある国かというと、正確に答えられる人は、少ないのではないかと思います。位置は、地中海に面しておりギリシャの下方で富貴先輩のおられるレバノンとなり、アラビア半島の北部にあるアラブの国でありながらアジアの国でもあります。

広さは19万平方キロメートルと日本の半分位ですが、独自にアラブの精神と文化を築いて来ており現在のシリアル文化は、こうした独自の文化と共に、数々の勢力の文化の跡もみられます。首都は、ダマスカスですがこの街は、世界最古の町として、又シルクロードの街としても有名であり世界のどの国にも例を見ない。古代遺跡（紀元前2～3000年前の寺院や宮殿）が沢山残っております。

さて国民性は、古く30年位前、二人の先生方（ボルトガル在住の小林先生、現在講道館役員の女川先生）によつて



シリアルナショナルチームと永吉勝憲氏

今回の防問に際しましては、関前監督、上村監督、原助監督はじめ学生諸君に種々お世話をうなぎました。紙上を借りまして厚くお礼申し上げます。

て伝えられ、その後、協力隊員が2～3年交換で指導していくのですが私が着任するまでの10年間は、長期の日本人指導者がいかつたためか、現地人コーチによる運営の柔道によって何とか国際試合が出来るまでに成長してきました。今回は、嘉納杯大会に備えて、一ヶ月も日本で練習をする機会を得ましたので、講道館をはじめ明大、場他各大学を廻って稽古をさせてもらいました。

お隣様で、選手とも日本の柔道を身をもって体験でき、得意満面でシリアルへ帰つてきました。今後も機会ある毎に、選手達を日本へ送りたいと思っておりま

新日本プロレスリング株式会社

坂口征二  
(昭和39年度卒)

清澄な北海、アイスランドで獲れた  
**ししゃも**



107  
北海道・青森県・岩手県・福島県・宮城県・山形県・秋田県・長野県・岐阜県・愛知県・静岡県・三重県・滋賀県・奈良県・和歌県・高知県・徳島県・香川県・愛媛県・鹿児島県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県  
道場 東京・横浜・名古屋・大阪・福岡・札幌・仙台・福井・新潟・富山・石川・福島・山形・秋田・長野・岐阜・愛知・静岡・三重・滋賀・奈良・和歌・高知・徳島・香川・愛媛・鹿児島・沖縄  
チケット料金 1,000円  
TEL 03-5531-1234  
FAX 03-5531-1235  
E-mail NIPWCO@NIPWCO.JP

石井接骨院  
院長 石井 康男  
(昭和39年度卒)

飯田興業(株)  
社長 飯田弘昌 (昭和39年度卒)

山口県新南陽市福川341 (駅前 大正館)

TEL (会)0834(62)-2732 (自)0834(62)-2637

石井接骨院  
院長 石井 康男  
(昭和39年度卒)

## 今年度全日本大学柔道連盟一大行事であるスカンジナビア遠征

は二十六名（役員六名、選手十一名、特別選手二名、選手十八名）で挙行した。

この遠征の団長をリードして、

このことに於いては、

戦後海外遠征の経験もなくいささか、ちゅうちょしましたが、関門会長

の熱心な要請もあり団長を引き受けることにし

た。そこで海外遠征の豊富な我が明治大学柔道部監督の原君を口説いて同行してもらうこ

とにしました。

我々遠征団は七月十

六日成田空港を出発、モスクワに到着した。たまたまこの日

はモスクワ国際親善スポーツ大会が行なわれており、日本から多くの大会に参加して居たので選手激励のため会場に立ち寄り、クレムリン宮殿、赤の広場、モスクワ大学等を見て市内を一巡ホテルに宿泊した。モスクワ空港手続きは

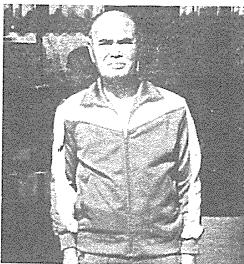
なかなか厳重で、私のボディチェックの際、ビーアイーと何かなか探知器の音が止まぬので身につけているもの全部を取り出されたところ、カプセルのビタミン剤が内ポケットにありやつと犯人を見付けてホッとした一幕もあった。翌日

十七日にはモスクワよりフィンランドのヘルシンキに向い一時間余の飛行でパンダーラ空港に到着、空港には、フィンランド柔道連盟会長ヘイノ氏以下多数の出迎えを受けた。モスク

ワ空港と異なり何となく温い親近感をおぼえた。

この日の夕、日本大使館で歓迎の晩会に招かれ高橋大使より激励の言葉を載り、一同深謝してヘルシンキの宿舎にて泊まることにした。十八日は今回サマーキャンプ地トゥルクに向った。トゥルクはヘルシンキから一七〇キロの巨離があり、バスで美しい森や湖を眺め乍ら約二時間で到着した。トゥルクは日本の京都を想い出させるフィンランドの古い都で旧所遺跡の多い美しい街である。今回のフィンランドのサマーキャンプは、トゥルク市武道会の主管で行われトゥルク市武道会会長アーツス氏、副会長ヨウコ氏、指導部長ハカネン氏及び回合同合宿稽古の連絡調整にあつたで載った棚山氏には連日お話をになり感謝して居る。

トゥルクにおけるサマー・キャンプは、七月十九日～二十六



## Yhdeksäs dan on näyryyden merkki

Ryhdessä, tukkailmeinen Setsuo Sugata ei ole helppo ulkoja yli 70-vuotiaan ikäistä, mutta judon opiskelija on pitänyt huolen tunnosta ja tuonut muaan koulunsa vanhan yleärvoaan, yhdeksänneen danin.

## Kata kuin toinen maailma

Maailmassa elää tällä hetkellä vain yksi judon dan, ja noin 15 vuotiaalla jo tämä Heijōnokaielle tarjolla Turussa Setsuo Sugata, joka aiemmin osoittautui valtavaan vastaehitoikatkan, jossakin määrin rituaalimaisen tekniikkatuotannon alalla korstaan judon puhustuskelloista luonnottaa.

Ainestatutioon estyy oili edessä Kohokohda Shionen ja Joonas Lehtinen, 1970-maalista, joka puolestaan on Tanskaan suurimman judo-tiiton hupesiintuva. Setsuo Sugata estyy vanha, mutta aktiivinen ja taitavampi, 55 vuotta harjoitelleen siedilleenkin.

Sugatan kataa katsova ei ihmettele, mistä sillä on maailmassa tullut danin. Katan hallinta edellyttää varallisuutta ja vastaehitoitettavuutta, positiivista tekniikkaa, positiivisen yhteisyyden ja harrastusta. Kata on osittain myös laajempi merkitys: 10-vuotiaan, vastaehitoitettavien kerrympä Sugata on osoittanut vauvan puhutustekniikkaan kiertelevästi.

Myös maailmassa eput muiden Suomen Ainestatukkuun asti Setsuo Sugata oli ensimmäinen suomalaispelaaja joka saavutti yli 70-vuotiaan ikäistä, jossa palkitaan kolmekkantien voimaa. Denshinko on Suomen ensimmäinen raskasvammien panoksilleihin herättänyt jopa poskien ja etenkin istuhtaan sekä vauvaanetta että voimankäytyn pölytyksen teknikkien vuoksi.



遠征チームの活動を連日報ずる現地紙。

までの市の体育馆で行なわれた。午前ジユニア、一般成人と分けての指導、午後は各コントライン・ショナルチームを含めての乱取稽古となかなか過密な日程であった。参加者は地元フィンランドの他スエーデン、ノルウェー、アイスランド、東ドイツ等よりの参加もあり約三百名が集つた。

私も二十日午後に行なわれた親善試合と形の演武では投技裏の形（三船十段創案）を原



レセプション（日本大使館公邸にて）

Yhdeksäs dan eli yli-dekasmies astuu mukaan myös judoosiksi. Herra Sugata on hyvin harva koko maailmassa pystynyt saavutuksen. Se välttää koko elämänsä aikana upumamattona judon opiskelua, kielteiseksi joutua, joka tuo pian puoliiset vanha vilivön pystyä kuvittelemaan, pitkäjäntiteillä, osittain ylivoimaisesti akatemian käynyt Kiuja on lähellä kaupunkia. Torstaina uusilaatuinen yhteisyyden arvoturssitunnilla onnistuu hyvin. Tässä yhteydessä mukaan mukana tulee myös näyrät, joita nuoret erittävät, jotta vanhemmat saavuttaneet sivät pysty edes kuvittelemaan.

Setsuo Sugata, joka edes European Champion perjantaina nähtiin Suomessa, muistutti nimensä virallisesta.

Setsuo Sugata on seuraava suraushistorioona edellä vahan surausta tarkoittava henkilö. Hän on suomalaisuuden edelläkäenteen keskeinen tekniikkamies, ja hänellä on tähän saavutuuteen hänen pölytyksen ja ammattilaisuudensa ja koulutuslaatuun perustuvat suurimmat tulokset. Sugata on suomalaisuuden edelläkäenteen, joka uuden judon parhaan opiskelijan ja urheilijan uran siitä, sanoo Sugata. Kolme vuotta sitten hänellä mukanaan noissa ihan harjoitteluvaikeudessa ja opiskelevana ja kuun loppukuuksien tapahtunut. Sugata on seuraava suraushistorioona edellä vahan surausta tarkoittava henkilö. Hän on suomalaisuuden edelläkäenteen keskeinen tekniikkamies, ja hänellä on tähän saavutuuteen hänen pölytyksen ja ammattilaisuudensa ja koulutuslaatuun perustuvat suurimmat tulokset. Sugata on suomalaisuuden edelläkäenteen, joka uuden judon parhaan opiskelijan ja urheilijan uran siitä, sanoo Sugata. Kolme vuotta sitten hänellä mukanaan noissa ihan harjoitteluvaikeudessa ja opiskelevana ja kuun loppukuuksien tapahtunut.

Setsuo Sugata on seuraava suraushistorioona edellä vahan surausta tarkoittava henkilö. Hän on suomalaisuuden edelläkäenteen keskeinen tekniikkamies, ja hänellä on tähän saavutuuteen hänen pölytyksen ja ammattilaisuudensa ja koulutuslaatuun perustuvat suurimmat tulokset. Sugata on suomalaisuuden edelläkäenteen, joka uuden judon parhaan opiskelijan ja urheilijan uran siitä, sanoo Sugata. Kolme vuotta sitten hänellä mukanaan noissa ihan harjoitteluvaikeudessa ja opiskelevana ja kuun loppukuuksien tapahtunut.

PAAVO A WITTANENMI

（スカンジナビア遠征記）

までの市の体育馆で行なわれた。午前ジユニア、一般成人と分けての指導、午後は各コントライン・ショナルチームを含めての乱取稽古となかなか過密な日程であった。参加者は地元フィンランドの他スエーデン、ノルウェー、アイスランド、東ドイツ等よりの参加もあり約三百名が集つた。

私も二十日午後に行なわれた親善試合と形の演武では投技裏の形（三船十段創案）を原

Kaisa Hemo

（スカンジナビア遠征記）

Sugata, 60 vuotta leviä, ja, etenkin suomalaisten vuosina 1970 mestaruuden Yedinen karsintaan, Numeron kookkaampi ja voimakkampi Harai hyykkäsi, mutta oli vanhan mestarin vastaehitoitajan edessä perässä.

SIVU 21

六段を相手に披露した。当日はヘルシンキより高橋大使御夫妻も応援に駆せつけて戦いた。又二十一日の寝技の指導では三角絞について、二十六日の立技の指導では投技の連絡変化につき技の妙味を指導した。フィンランドの柔道はヨーロッパ

# Judopappa Sugata ja tatamin salaisuudet

Italat - Turku

○ — Oulalle judo on hi-kollaan, osalle se on myös jäätyneen.

○ Lalli ei väittänyt näkyä aina humalauksella Judo korostaa mukavimmalta tehtäviltä eikä sitä ole myös yhteisen hyvin, palvelut 70-vuotiaille 9-11-vuotiaille Setomo Sugata —

○ Judo on ollut eritaidon kannalla — onneksi judo on palavamman vanhalla ollutkin.

Sugata on ainoana maailmassa vastahelikokka-taikuri. Hänellä on suuri kantkynnyksellinen hänens teljessä. Yleisesti japanilaisia judeja on käytetty yliopisto-aineistustasolla. Kasparjan. Kuvassa Sugata osoittaa Japanin myös judon Glóossista pienen.

Setomo Sugata halusi tuo-

de lämmitä kalan ja tuli

si, ettei sen jälkeen unohd-

ta siinä, että luomien kante-

estaan tonttutteesta. Tästä v

Taidostaloissaasietsi Japanin judon mullina on kunniallisilla mestareilla ollut istuvahtti. Alkuperäisestä vuodesta 1924 lähtien valtakunnan, ku-

tuksen, ympäri, vapaana palaan. Onnittelen kollegoita on menossa takaisin oikeaan itäosan pellon.

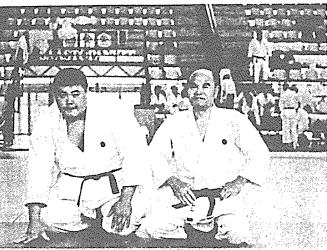
— Jos erittäin siltiin ja huikeasti suoritetaan, voit aina kaatuu. Väärällä systeemillä käytävät yliopistot ja kouluissaan, painottaa Sugata.

— Japanissa ykköset pyrkivat toimimman ja yhteiskunnallisen kehityksen edelleen. Tämä kanava jouduttaa tilanneen ongelmien tullessa. Pyrkimyksillä on kohdemaan mullina ja alueellinen paitulaisista herkullakin kohdalla. Ille.

Setomo Sugata korostaa monista eri syyistä, joten se tuo ennen Juden kokoustaan. "Ködä iloja tunteja" —

— "Olen ihan vakuuksin ystäväni, vakuuksin ennen kaikkea. Henkiliä, joilla on monia yllättäviä hyväksymisiä. Olen ihan vakuuksin ystäväni, vakuuksin ennen kaikkea."

Suojahtelli Judoollia ja selostaa, että hänellä on muodostunut ihana institusio. Japanissa Judo on mielellään tavalla, joilla on myös yllättäviä hyväksymisiä. Olen ihan vakuuksin ystäväni, vakuuksin ennen kaikkea."



○ 70 vuotta ikää, mutta aina tervetullut, seuraavaan vuoteen kokoontuu uusimman fiksisässä, futasi legendaaressien Sugasta.

○ Alvaro Jujin, oletan, että lomaillaan. Lomaillaan on lomaillaan, tunti on tunti, minulla on tunti.

Makara ja mielestä pahenna, 150 idioa ja ketterältä istuvalta. Vottamaton on Yos- hiro Matsuo.



## Makkara ja kalja virkistää mestaria

toihd. turhista, kohdella.

Ylävartta, joka on johdettu rintaa ja nyrkkiä.

— Jokainen on ollut jo t

到着、翌日はノ

ルウエーの首都

オスロに一泊市

内見学をして、

オストロヨリ一路

パ全般の柔道と同じくまだ力、体力の柔道であるが、講習会における受講生の態度は眞面目で熱心に講道館柔道を身につける様努力する姿には好感がもてた。又今回の遠征団に対する歓迎はトゥルク市あげてのもので、連日市会議長、銀行協会々長、武道会長等の歓待を受け、白夜の統場のサウナの味も満喫出来た。

二十六日夜は想い出のトゥルクのホテルをあとにフェリーの船上でゆり乍ら夕食をとり乍ら美しい島々を巡り

バルト海を横断スエーデンのストックホルムに

六段を相手に披露した。当日はヘルシンキより高橋大使御夫婦も応援に駆せつけて戦いた。又二十一日の寝技の指導では三角絞について、二十六日の立技の指導では投技の連絡変化につき技の妙味を指導した。フィンランドの柔道はヨーロッパ

モスクワ経由空路無事三十日前十時四十分成田空港に帰着

した。

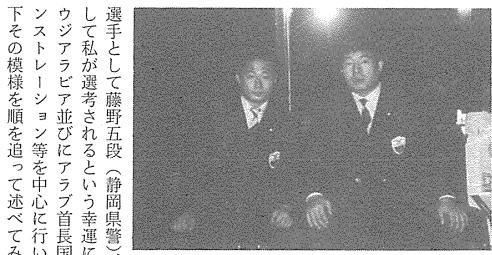
今回の遠征団に明柔会関係では私、原君の他学生の新垣、松田の両君と四名であったが、明柔会より多大の御援助を載き誌上をかりて厚く御礼申しあげます。この遠征中、原君には迷惑だったろうがモスクワ宿泊以来トゥルク合宿中も引続同室で起居してもらひ、形の相手、マルカーの計算・通訳の役目をしてもらい放馬の機会もなく氣の毒であった。

私自身としても学生時代、東京学生柔道連盟が満州軍と定期戦を毎年実施して居た当時、昭和十二年の夏二回高広三郎（東京学生柔道連盟会長、早大O·B·B）団長に引率されで門司港を出帆連絡船で大連に到着し大連において対抗試合を行ひ、試合終了後は数グレードに分かれて奉天、新京、ハルビン又は山海閣等を廻って帰った當時のことを想起して時の流れと世の変華に感無量なるものを感するものであり、今年丁度古稀を迎えてのよき思い出の記念すべき遠征であつた。

### 柔道の旅

—— 中近東遠征を終えて ——

小山 賢司



成田空港にて 烏海先輩と

成田空港から約16時間

ようやく第一の目的地、

サウジアラビアの首都リ

ヤドの到着である。

去年11月19日より29日まで10日間、外務省主催により、湾岸諸国との相互理解推進と、友交関係の発展を目指す事業の一環として、日本スポーツ振興会団が湾岸諸国へ派遣された。柔道の部においては、團長に鳥海先生

（本学三九年度、コーチ藤田先生（講道館国際部）、藤野五段（静岡県警）、田村四段（三井造船）、そして私が選考されるという幸運に恵まれました。選手団はサウジアラビア及びアラブ首長国連邦の各地において、デモンストレーション等を中心に行無事日本料理を消化した。以下その模様を順を追つて述べてみたいと思う。

サウジアラビアでの第一日目は、ホテルにおいてレセプションが行われた。イスラム教の関係でアルコールは一切禁じられており、肉も羊に限られている。豚肉は皆無であるのは有名であるが聞くところによるとイスラム教の発祥した頃に豚肉による病気が発生し、人々が苦しんだのが所以だそうだ。

ふつと目がさめた。少しうつとうとしたらしい。あたりは、うつすらとしていて、女性などは、ベールで顔を覆い、肌をうつさい露出しないスタイルのチャドルをまとっている。

又、宗教的に禁止されているから食べないのではなく、生理的に嫌悪しているアラブ人も多いという。女性については、看護婦など一部の例外を除いて社会的な仕事に就くことはできず、車を運転なども認められないようだ。(サウジアラビアでは、イスラム教が精神面だけでなく日常生活のあらゆる点にまで浸透している。まさに異国である。初日は現地の習慣等について、実際に知る事が出来非常に有意義であった。

二日目は、第一回目のデモンストレーションがマラズスタジアムにて、大観衆を前に行われた。陸上トラックの上に置かれた、青空の下で柔道を行うのは、初めての経験である。がひかれ、青空への柔道を行なうのは、まさに異国である。模範乱取を中心にを行い、時間にして15分ぐらいであったが、習慣等について、実際に知る事が出来非常に有意義であった。

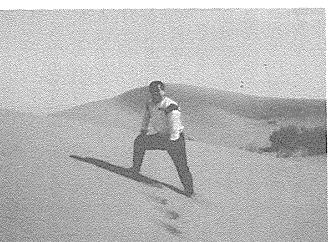
三日目は、我々柔道チームは、N H K 取材班が同行して行われた。午前中は、現地の選手の指導を中心に行なった。午後は、投の形、投裏の形、得意技の披露、模範乱取りを行なったが、その模様は11月25日のN H K スポーツニュースで

かれた、ちなみに、大使は柔道三段であり、大使の要職にあらねば、柔道への情熱を未だ失っておられぬ方であった。

その大使が急遽、午後からのデモンストレーションに特別参加することになった。日本大使自らの出場とあって館内は、デモンストレーションを成功させるのに絶好の雰囲気となつた。プログラムに、本日のスペシャルマッチとして、片倉大使と藤野五段が組れた、模範乱取で片倉大使の体落しと藤野五段が大きく飛ぶと館内は、拍手がおさまらず、手拍子が鳴り響き、選手と観客が一体となってこの日のスケジュールの幕を閉じた。夜のレセプションでは、サウジアラビアでは厳禁であったアルコールが許されており、人々の生ビルに新鮮なエネルギーを感じ満足感に酔いしれ、明日への活力を養つた。

そして翌日、いよいよ最終目的地ドバイに到着した。ドバイは現在チュニジア開催中であり、商店も多く町全体が活気に満ちている。彼らの鋭い商人魂はアラブ長年連邦中随一と言われば、一種のダイバイン精神を持つ商業発展に貢献しているそうだ。又、現地で柔道に力を注いでいる米田氏の協力により、ドバイ空手センターでのデモンストレーションも大成功のうちに終り、全スケジュールを無事終了した。

夜は、ハーレム大佐主催のディナーがあり、現地の人々と歌や踊りを楽しみ、人種、国籍は違つても本質的人間性は、皆同じだという安心感や親近感にひたりながら10日間の旅の疲れをいやした。各地で指導やデモンストレーション等を



サウジの沙漠にて

放映されて一応好評のようであった、デモンストレーション終了後我々は、鳥海先生の教え子で、講道館初段の腕を持つプリンスの自宅を訪問した。広大なこの屋敷の豪華さを一口で云い現わすことが出来ない。プリンスは、鳥海先生との出会い感無量のようであり、N H K のインタビューに「今度、ミスター・トゥリウミがサウジアラビアにきたときは、私が新しく建てた家に住んでもらう」と答へ、鳥海先生のサウジでの8年間の生活がいかに有意義なものであったかがうかがわれる

と同時に、大変微笑ましい光景であった。

四日目、私は、市内觀光をキャンセルし待望の砂漠見学を行つた。ラクダ、オアシス、円形農場などが次々に見え、やがて広大な砂漠が目一杯に映つた。青く澄みきった空と少し赤みをおびた雄大な砂漠との調和が素晴らしい。自然が造り出した芸術品である。都会に住むアラブ人など金曜日の休日には、ピクニックに出かけたりして、日常の生活では遠くなつた砂漠への郷愁に没する習慣があるらしい。砂漠は、アラブ人にとって心の郷土であるようだ。私はサウジアラビアを語るには、砂漠なくして語れないという気持が改められた。

午後は、第二の目的地、アラブ首長国連邦の、アブダビへと向つた。アブダビは、非常にカラフルで青い空とコバルトブルーの海は、一瞬ハイキを思わせた。又、宗教的規制もサウジアラビアと比較し、かなりゆるやかであり、同じ湾岸諸国とは思えないほどであった。

アブダビへ着いた翌日、片倉大使公邸において昼食会が開

通し、見せる事のむずかしさ、楽しきなど試合で勝つ事とは異つた喜びや味わう事ができたのは大きな経験であった。

又、珍しい習慣や生活にふれて感じたのは、世界中の人々がそれぞれ違つた生活をしている事は、実に素晴しく楽しいことであるという事である。世の中全て同じであつたらまらない。自分の生活習慣でしかものを考えられない我々は違つた習慣にふれると、まことにだらしなくしり込みしてしまう。だが、むしろその違いを積極的に楽しむくらいの心のゆとりを持ち、視野を広げていく事が、これから日本人にとりて大切な事ではないのか、そんな気がしてならない。

僅か10日間の柔道の旅であったが、私の人生において忘れることの出来ない一ページを築く事ができ、貴重な体験であった。

最後にこの項をお借りして、未熟な私をこのような遠征に推薦して下さった諸先生方に心から感謝する次第であります。

△五七年度 東京消防庁

## イラク共和国 柔道指導記

京葉ガス

謹 訪

剛

この夏、八月一日より二十九日迄の二十七日間、講道館国際部の要請により、イラク共和国の首都バグダットに滞在し柔道指導を行なってきた。

ハンマラビ法典、アラビアン・ナ  
イト、石油、隣国と戦争中。その程  
度の知識しか持ち合わせないまま成

田を立った。

バクダットへは、バンコック経由  
で約十五時間、現地時間の早朝八時  
に到着。空港では、イラク柔道連盟会長ファイサル氏の出迎  
えを受けた。

外気は、日中摂氏四十五度という酷暑であった。出国前より覚悟はしていたが、想像以上であった。しかし、日本のような湿氣を帯びたじめさはない、夜間は三十度以下に下がる。ホテルで休憩後、夕方、車で早速練習会場へ出向いた。

柔道場は韓国のチッコン道(空手に似ている)の道場、ブルーなどがある近代的スポーツクラブの一角落であり、百二十畳の広さであった。冷房完備され、すばらしい施設である。

現在、イラク共和国での柔道人口は、約五千人程度で、国内三十二、バクダット市内には二十の柔道クラブがあるという。

戦争中のことでもあり、レジャーも少なく、数少ない格闘技の一つで入門者も多く、警察官の活動派が多い。少年達の姿も多く見られた。

今月に開催された嘉納杯出場選手四名の強化(残念ながら来日せず)、そして講道館昇段試験の実施立ち合いであった。練習時間は、午前十時より一時間インストラクターへの特別講習会、午後六時より二時間、練習指導という日程で、週

六日間であった。

夏季は高温であり、昼寝をする習慣があり、商店も午後二時から五時頃まで閉まる。週休日は金曜日、宗教的慣習で安息日、当然練習も休日である。

星、十二時頃になると、毎日、スピーカーでイスラム教の祈りの放送が流れる。しかし、イラクは他のイスラム教国と同じアルコールの制限もなく、比較的の自由であった。

都市部などもあり、服装は現代的であり、アバヤ(黒い布)をまとう婦人も數少なかった。しかし、異性への気くばりは特に必要である。

実技指導は、投げ技、固技を一日おきに指導しました。

アラビア語相手に、片言の英語とジェスチャーで苦労したが、講道館で修学し、私の説明を理解してくれたファイサル氏の助言もあり、得心してくれた様子であった。しかし、異性への気くばりは特に必要である。

滞在期間中、市内クラブ対抗の練習試合が五回程、行なわれた。応援も百名以上もあり盛大であった。

また、イラクTV局の柔道の為、横分れ、大外落し横掛け、裏投げのデモンストレーションを希望された。日・イ交流に少しでも役立てばと思って頑張った。

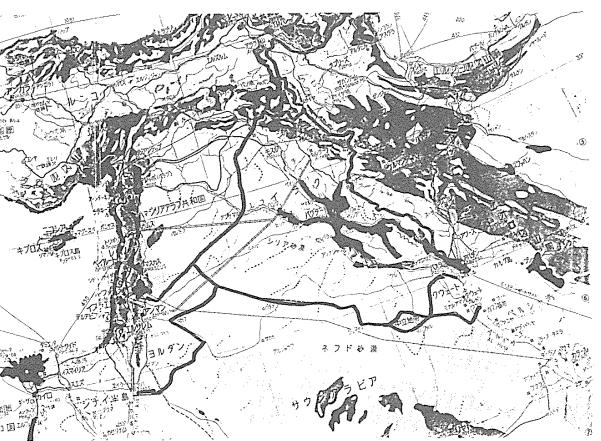
昇段試験の実施。

イラク柔道の段位は、まずイラク柔連の段位を取得し、その後、講道館昇段試験の受験資格が得られることであった。当

日は、初段二十六名、二段七名、三段三名の受験であった。

ファイサル氏と私の二名で審査した。

滞在中、在留邦人の方とバクダットでも数少ない観客地、



ハバニヤ、レイクに出かけ、さらにホテルのブールでひと泳ぎ、日光浴、夜はカラオケ大会と異國の地を忘れ楽しい夜を過ごすことができた。

今回は派遣先がイランとの交戦中のイラクと聞き、また、発行日当日発行の新聞紙上にイランがイラクに避難要請の記事が掲載され、不安な出来事があった。また、滞在期間中の深夜二時頃にはイランのミサイルがバクダット郊外の製油所に投下され、ヒヤリとさせられた場面もあったが普段はほとんど戦争中の国とはとても思われないほど、おだやかで、のんびりした国であった。ホテルの窓から見られた、夜のハイウェイの照明など、その景観はすばらしいものであった。市内のスーク(市場)も目を楽しませてくれた。

滞在期間中、道場の生徒はきわめて真面目に練習し、私の説明に聞き入り、一生懸命私に応えてくれた。また、異国の人達の遠く離れた講道館への憧れは私の心を強く打った。イラク政府は日本との学術技術スポーツ交流に力を入れており、国情の違いもあり、時間を要すると思われるが、今後、より多くの交流を通して柔道の発展の必要性を強調していく。イラクの道場で見た熱意、今後、世界の愛好者の柔道という共通理解の上で、互いに学び合い、競い合うことを希望したい。

## 「抱負と反省」

## 六年にむけて



小川 直也  
(一年生)

体戦と数多くの試合に出場する機会を得ました。が十分な結果を出さぬまま、九月の東京学生（個人）で足首を骨折してしまいました。このケガで約半年間は本格的な稽古が出来ないと思います。しかし来春、回復後は即、このブランクを取り戻せるよう、厳しく努力して行きます。



矢部 康満  
(二年生)

今年一年を振り返ってみると、合宿生活に慣れるまで、ケガや力が引きを繰り返し、又高校と違う激しい練習で毎日が、つらかった春の頃が思い出されます。夏頃からケガをしなくなりましたか、時間が経つて生活にも慣れ段々充実した気持ちで練習出来る様になつためだと思います。

今は一年生という事で試合では思いつつぶつかっていく事が出来ました。来年は体調をより万全にし、気持ちも新たに、優勝に向けて頑張ります。

自分は、今年の四月の入部以来、個人、団

飛松 和雄  
(一年生)



長田 猛  
(一年生)

入学して初めての頃は、慣れない寮生活で正直いつ毎日がとても不安でした。しかし、だんだんそれにも慣れ、練習にも身が入る様になりました。大学の練習は、高校と比べると、とても厳しく、はじめの頃はつらいのが多かったです。しかし、レギュラーになると、それが少なくなったのが、この一ヶ月半、仲間がどう選ばれた時には、頑張ったかいがあつたなとうれしさがこみ上げてきました。今年は、準々決勝で敗れてしましましたが、来年は、必ず優勝する様に、頑張りたいと思います。

又、同じ一年生の小川君が、全日本学生で優勝したので、自分もそれを励みにして、負けない様に頑張ろうと思います。

る者えましたが、今は相手の気配におされてる様な試合は二度としないと反省しております。そのために、先生方がいつも言っておられる様に練習量で自信をつける他ありません。十二月末には取りも出來ることになっています。まだこれから「おいてきぱり」にはなっていないと信じています。

野田丈雄  
(一年生)



孝富士徳幸  
(一年生)

入学して、先輩・後輩関係のむすかしさ、団体生活の厳しさを痛感しました。また、幾度か試合に出していたきましたが、先生、先輩方のご期待にそなう事が出来ず申し訳なく、又残念に思っています。

来年は、今年の経験を生かして、練習に励み、期待に答える選手になれる様に、頑張りたいと思います。

入学して、これまでの自分は、怪我が多く、皆の半分くらいしか練習が出来ませんでした。来年までには、怪我を完全に治し、万全な体調で練習に参加したいと思います。

来年の抱負としては、新人生にも有望な選手がいる様の、同期生や後輩に負けないように先生方の教えを守り、選手を目指して、死に物狂いで練習に励みます。



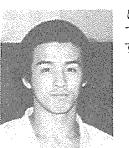
佐藤 嘉剛  
(二年生)

私は今まで、怪我を完全に治し、万全な体調で練習が出来ませんでした。今は漸く皆と同じ練習が出来る様になっておりまます。今年を振り返って見ると、ケガをした事もありますが、実力が未だある事がよく解りました。

来年は不調だった今年の悔しさをバネに、負けないように先生方の教えを守り、選手を目指して、死に物狂いで練習に励みます。



菅原 健介  
(二年生)



天本 文雄  
(二年生)

選手に選ばれる様一生懸命練習に取組むつもりです。

今年の試合成績を見ると、個人戦では大柔連と、全日本体重別東京予選に出していただけきましたが、全日本の方は予戦を通していただけませんでした。まだジュニア世界大会、国内予選が終つていませんが、他の試合結果も含め全体として去年の方が良い成績でした。一年の時より成績が落ちたという事は大きな反省点です。来年は三年生、四年生になってからでは遅い、と思っていますので、今から懸命に打ちこみ個人戦のチャンピオンを目指します。

今年は、念願のレギュラーに入れていただけきました。このチャンスを踏み台に、大きく

一步踏み出でて行かなければならなかつたのです。

が、この大きなチャンスを、必らずも生かす事が出来なかつたのは、まだ未熟で努力の足りないためだと思ひ、反省しております。

しかし、試合に出場して、得た事も多かつた様に思います、今からは、この貴重な体験を無にする事のない様に、努力精進して行きたいと思います。



吉岡 宏志  
(二年生)

この一年を振りかえり自分の精神の甘さが、様々な結果となつて出来た事に気がつく。もつて、そのあげく大事な試合でケガをしてしまった事などは、自分に対する厳しさを失いた日頃の練習のツケである。

来年は三年生になり、自分の事だけではなく後輩を引っぱって行く立場になる訳だから、これまでの甘さを捨て、気を引きしめて頑張つたりである。チームは大会(団体)でベスト8に終つたが部全体の雰囲気は盛り上つ

ります。深く感謝しております。

肉体的にも精神的にも柔道は厳しいと痛感しております。自らの精神的な弱さを克服したいが爲始めた柔道、技術を身につけ磨き、精神を学ぶのみならず、幅広く多くの事柄を諸先生、諸先輩より学び、自分の糧としてゆきたいと思います。また柔道部に関する多種多様な分野において、自分のような弱輩者が貢献できれば幸いと存じます。これからも精進致します。諸先生方、諸先輩におかれましては、今後とも宜しく御指導の程、御願い致します。



橋本 年弘  
(三年生)

今年は選手として、団体、個人とも良い成績をまことに残せないまま終つてしまつた。しかしながら、部としては一年生小川の学生選手権大会優勝という大きな収穫があった。この喜びを機に来年は全部員一丸となつて目的達成に頑張りたい。又来年は名譽ある主将に選ばれ、責任の重大さを痛感している。主将として種々の抱負があるが、昨年、今年

て来ており、来年こそはと思つ。



一ノ瀬 泰  
(二年生)

今年一年を振り返つてみると、反省すべき点がたくさんある。まず第一に春の大柔道部大会で勝てなかつたこと、そして、父親とケンカして、先生、先輩方に御迷惑をおかけしたこと、ケガが非常に多かつたなど、精神的な面で甘さが目立つ一年だった。

来年は三年生になるし、いつまでも一年生気分ではいられない。そのため精神的に強くなる事が自分の課題だと思います。



太田 浩貴  
(二年生)

自分は、去年の八月に首をケガして、それが、今まで尾を引いて、あまり稽古が出来ませんでしたが、今年の十月から少しづつですが、稽古を始めました。またもう一度、同じ個所を痛めるのでは不安はないま

と突出する余りにも多い故障者対策が大きな課題の一つである。

より一層の御鞭撻を願いたい。



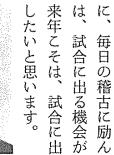
渡辺 秀明  
(三年生)

一月、監督からマネージャーを命じられました。不慣れな事にとまどいを感じながらも、先生、先輩方の御指導を得て何ううにか無事に一年が過ぎようとしています。

仕事の上ではボカが多く、部員の諸君をはじめ先生方や、OBの皆様にも何かと御迷惑をかけた一年であったかと思います。

早いもので来年は四年生となり、主務の任務も一年目に入ります。今年、大目に見てもらつた失敗事も、もうくり返えす訳にはまいります。

主務の仕事について先ず感じたのは、先輩の方々が我々学生の日常を非常に心配されてるという事です。又OBから頂だ、様々な問題達成に頑張りたい。又来年は名譽ある主将に選ばれ、責任の重大さを痛感している。主将として種々の抱負があるが、昨年、今年



小林 詒  
(二年生)

全くの初心者でありますから名門明大柔道部に入部し、始めての冬を迎えます。当初は少々なりとも体格には自信があつたのですが、始めて道場に入つて来た瞬間より見事に軽い、おまけに滞空時間を感じるほどです。

この十一月に、亡き父との約束でもあります、柔道部の虚席生となつてあります。一八八センチ八〇キロの体は面白いように空中を舞い、おまけに滞空時間を感じるほどです。

全国的に名を轟かせている方々の中では自分は単なる傍観者の様であります。先生方、先輩方の技術や肉体を支配する精神を見逃すことなく、盗み取りしたいと思います。

この十一月に、亡き父との約束でもあります、初段を取得することができました。御迷惑ばかりおかけしているにもかかわらず、御指導していただいた先生、先輩方の御蔭であ



飛松 秀樹  
(三年生)

今年は、足首のケガの為、全日本学生の団体戦個人戦とも出場をすることが出来ず悔しい思いをしました。来年は、副主将にも選ばれて、みんなを引っ張つて行く立場にあります。

明大柔道部の目標はあくまでも、全日本学生団体日本一です。活気のある柔道部にまとめて上げ、目標に向けて、学生最後の年を盛り上げてきます。



**古田 勝久**

(三年生)

のに、上級生の自分が、レギュラーになれずにくそぶっている事は、思うつけ情けなく悔しがり一ぱいです。今は、自分の柔道に対する取り組みの甘さを痛切に反省しております。柔道部全体の反省点は、ケガ人が多すぎます。柔道部全体の反省点は、ケガ人が多すぎます。柔道部全体の反省点は、ケガ人が多すぎます。

今年はケガばかりで練習も休みがちになりまともな部活動が出来ず、終ってしまいました。今年味わったこの悔しさと、もどかしさを発奮の材料として、がむしゃらに頑張ります。又、来年は副主将という大切な任務につくことになりました。主将になる橋本を助けて十分に責任をはたしたいと思います。一年生小川の優勝は、本当にうれしい事であると同時に、上級生には強い刺激となりました。来年こそ「団体優勝」達成に向け、先生方の御指導の下で頑張りたいと思います。



**藤鷹 英雄**

(三年生)

今年一年を振り返ると反省する点が、多々あります。しかし、一番の反省点は公式戦に出ることが出来なかつたということです。一年生がレギュラーに入つて頑張っている



**工藤 穎康**

(三年生)

今年を振り返ってみると様々な事が頭にうつります。自分は今年、ケガが無かつたので、その点ではよかったと思います。来年こそば、レギュラーに入つて試合で、活躍出来るよう頑張ります。



**本間 一義**

(三年生)

今年の反省の点は副主務としての反省である。仕事の上でも気持ちの上でも、主務渡辺の力にあまりなつてやれなかった事、部を盛り上げ活気つかせる、という方針をたてながらその徹底にどれだけ心をくだき努力したか?三年生主務の渡辺の苦労を思えば同期の自分はもっと積極的に彼を助けなければならなかつた筈だ。

来年こそは、主将、主務を助けて明大柔道部前進の緑の下の力となるつもりである。



**向井 一輝**

(三年生)

今年一年を振り返るといつて思いますが、多

く一年を振り返って見ると今年は、自分なり



**那須 一郎**

(三年生)

に頑張れたという気もしますが、それほど多く大会優勝を今まも果せなかつた事が悔しくなりません。早いもので、私も来年は四年、最終学年を是非優勝で飾つて卒業したいものです。自分個人としては全日本学生(団体)のレギュラー獲得を目指し、毎日の練習に打ち込む覚悟です。

辻 純一

(三年生)

反省すべき点は、よくケガをした事がすべてだと思います。考えてみると、二ヶ月に一回ぐらいはずつケガをしていました。年生で負けてしまつたことです。この敗因の半分はやはりケガから来た練習不足にあると思いま



**中口光一郎**

(三年生)

次には、全日本学生体重別大会に一回戦で負けてしまつたことです。この敗因の半分は

来年の抱負は、まずケガをしないこと。次に、相手が左の組み手の時の対応法の研究。最後に、もう四年生なので、試合に出場した時に、自分で悔いの残らない様な試合をすることです。



辻 純一

(三年生)

私は、今年の春三月の練習中に頸椎の脱臼骨折をし、三ヶ月間入院しました。以後、安静状態が続き、装具、コルセットがとれるまでに五ヶ月間もかかりました。現在、やっとリハビリ治療を終り週四日通院して首が動くようになります。来年は、まずは基礎体力をつける事から始め、今までのプランクを一日も早くとりこなして、気をひきしめて柔道に取り組もうと思います。

**金城 柔道接骨院**

(株)日本柔道整復師会常務理事  
近畿ブロック会長  
大阪府柔道整復師会会長

金城 孝治  
大阪市都島区高倉三一八  
〇六(九二五)〇七〇二

# 役員新生会



年の瀬の足音がきこえはじめる旧暦十一月の宵のことだった。思いがけなくも学園館の六階ホールで、久しぶりに神永昭夫氏にお会いした。二年ぶりの、しかも偶然の再会であつただけに懐しさがこみあげてきた。

大学伝報課のオフィスに入った私を追いかけるように近づいてくれた神永氏は、「小川の祝賀会をかねた納会が六時からまるで、が山田先生もいかがですか」と声をかけて下さった。

「そういえば、今年は十一月十日に行なわれた全日本学生柔道選手権大会で、明治大学の小川直也選手が無差別級優勝をとけたのですが、山田先生もいかがですか」と声をかけて下さった。

大学伝報課のオフィスに入った私を追いかけるようになつてくれた神永氏は、「小川の祝賀会をかねた納会が六時からまるで、が山田先生もいかがですか」と声をかけて下さった。

大学伝報課のオフィスに入つた私を追いかけるようになつてくれた神永氏は、「小川の祝賀会をかねた納会が六時からまるで、が山田先生もいかがですか」と声をかけて下さった。

## 特別寄稿

### はばたけ若人よ

明治大学経営学部教授 山田 雄一

て勤務した良友神永氏と歓談できるとはねがつてもない好機だと私は思った。

しかしながら、実に残念なことに、その晩私は同じ大学会館内で開催されている明治大

学・千代田共催の区民大学で、最終講義を担当することになつており、その前日打ち合わせのために広報課にて邪魔したところだつた。本学でいえば上村氏以来、一年

生という点では、世界の山下、以来十二年ぶりの二人目の一年生主者の座についていたこと

がそれをお語っている。しかも、校歌にいう「刻苦研鑽」。そのままに、稽古にはきわめて熱心であるときいている。この上は一層の度

量を培い、視野をひろめる努力を持続していく。すぐれた先駆の歩まれた道ではほししいものである。さいわい小川君は、ブライルで開催される世界大学柔道選手権大会に無差別級の日本代表として参加するそうである。こう

した機会は、同君にこれからもしばしば訪れることがある。さいわい小川君は、ブラジルで開催される世界大学柔道選手権大会に無差別級の日本代表として参加するそうである。こう

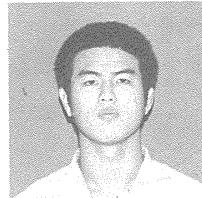
ことができるものと確信している。こう

うやつね考へてみると、小川君の一人の人格が磨かれることで、小川君個人に大きな成長が見えてくる。そこで、小川君の一人の成長が、明治大学の柔道部全員へ、来るるまき後輩たちへ、そして明大生全体へと漫透していくものだということを強く感じたい。

そのやつね考へてみると、小川君の一人の成長が、明治大学の柔道部全員へ、来るるまき後輩たちへ、そして明大生全体へと漫透していくものだということを強く感じたい。



主務 渡辺英明  
明大中野高校  
政経学部



副主務 本間義一  
明大中野高校  
文学部



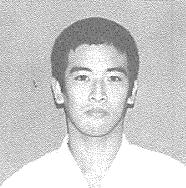
副主務 小林誉  
中条高校  
商学部



副主将 飛松秀樹  
世田谷高校  
政経学部



副主将 古田勝久  
中京高校  
政経学部



副主務 工藤慎康  
(OB担当)  
明大中野高校  
政経学部

私事にわたるが、私は昭和四十四年三月まで富士製鉄株式会社に勤務し、当時、神永氏はとも同じ富士製鉄ビルの最上階のオフィスで指揮の間に机を益べて働いていた。神永氏は人事部課長の職責に精励され、富士製鉄柔道部と母校柔道部の双方の指導にあつたのである。こうした何人前の仕事を、いとも自然と、しかも全力投球で遂行しておられた姿を、今も昨日のことのように思い出すのである。

新日鉄本社の部長職にある今日も、おそらく當時と同様に泰然としてしかも凜然おられた。こうした何人前の仕事を、いとも自然と、しかも全力投球で遂行しておられた姿を、今も昨日のことのように思い出すのである。

現監督の上村氏、前監督の篠巻氏、そして前々監督の関氏、いずれも神永氏同様柔道界の第一人者であることは勿論、それぞれの職場を拠点地に、二人前三人前の仕事と社会的活動をくりひろげておられる。このことの意味を、若い部員諸君のみなさんよ、真剣に考えてほしいものである。

諸君の先輩には、現上村監督のようにオリ

ンピックのゴールドメダリストによる前々監督の関勝治氏のように、全日本最多出場(連続10回)という不滅の成績により表彰をう

けた人物もいる。それらの方々の輝かしい業績の背後にひめられたさはじばかりの精神力と自己研鑽の努力とをせひ学んでほしい

のである。

天職の才能は人によってさまざまである。問題は個人の努力であろう。諸君の努力は、

諸君の後に無限につづく後輩たちによつて、必ず学ばれるのであり、そのようにして古い

伝統は絶え間なく新しい息吹をふきこまれてゆくのである。

諸君は、後輩諸子の目標となりうるよう、

自らの目標を高くかげ、合理的な思考のもとに、不斷の稽古を行はねばならない

のではない。どの分野であれ後輩から仰がれるは

何者にもまさる明るさがある。昨年九州場所で十両優勝した柄の和歌、綱田(かせだ)君

も、同期生の草球選手齊藤清君も、本質的に明るい人柄の人物であった。彼らの明るさは

教室内に輝きわたっているように私には感じられた。そうした人たちにも苦しみの年の

齊藤君は本年度の日本選手権では惜しくも三位にあまんじ、五連覇の夢は実現できなかつた。たえがたい左肩の痛みのため三日前

まで練習もできない状態だったらしい。彼は治療に専念し、三日のみの練習に完全燃焼

そして応援して下さった方々のことを思う

悲しい。といつて泣いた。

天職の才能は人によって古い

取扱いなお他人の心に思いを寄せる精神の

ゆかしさが、彼の真髓であることを私はしみじみ感じるのである。

スポーツは、人間の創造的行為を象徴する

活動の一つである。それは、にせものには決して到達できない境地へと人びとを導いてい

てくれる。個人技であれ集団技であれ、このことに相違はない。個人技も集団技も、人々の中で培われ、多くの学友たちの熱い日

なさの中で開花するのである。

諸君によって全明大生、全明大構成員が胸

を熱くし、人生における達成の喜びを共にするのである。諸君、目標を追究する人であつてほしい。目標への手段を沈着に運ぶ人であつてほしい。集団の中の一人として、社会の中の一人として、人びとと共に伸びることの意味を体得した人であつてほしい。

高くてばばたく人物であつてほしいのである。

## クリーンなガスを届けておきます。

明大柔道部出身者が明大道場で培かわれた力を発揮して、それぞれの分野で活躍していることは同慶の至りである。

特に、実業団柔道と明大との関りは伝統的で深く、若手現役のみならず一線を退いた各々も企業人として立派に活躍している事は幸甚のことである。又、現在も学生部員は合宿や合同稽古などで各社の協力をいたしており、この点、他校に比して真に恵まれた存在であることを痛感する。各位に対しらため調意を表し、益々の発展を祈念したい。

編集部は特に関係の深い数社の柔道部に登場願い、明柔との関りを中心に今号と次号に至って掲載する事にした。尚、現在全日本実業団柔道連盟理事長に、神永昭夫(三三年度、新日鉄)が就任している。

## 京葉ガス柔道部

### 宮下 濬

当社の設立は、昭和2年1月。以来、京葉地区の住民より「ガス屋さん」と親しまれ、来年で60周年の歴史を迎えるよう

しています。「よりきれいな空、よりきれいな街」をキヤッタフレーズに、市川市・船橋市・松戸市・柏市・浦安市・鎌ヶ谷市・流山市・白井町・沼南町・7市2町(約40万世帯)に

実業柔道団体対抗大会より7年連続を含む通算8回優勝、昭和52年第3回千葉県社会人柔道大会10年連続優勝・全日本実業柔道個人選手権大会通算9回優勝・その他国際柔道大会優勝等、数え挙げたらきりがありませんが、何といっても、今年5月に広島市民体育館で行なわれました第36回全日本実業柔道団体対抗大会第2部(12割制)優勝、昭和53年第15回東日本

毎年7月に開催されます東葛柔道大会の後援を昭和49年より行なっており、大変好評を得ております。

当社柔道部の主な戦績は昭和53年第28回全日本実業柔道団体対抗大会第2部(12割制)優勝、昭和53年第15回東日本

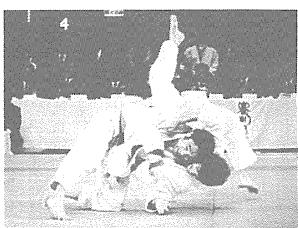
勝進出をはたし、これまた強敵新日本製鐵と対戦しまして、念願の初優勝をかぎりました。

これからは、追う立場より追われる立場に変わります。が、今年の優勝に慢心せずに、今までの気持ちを忘れずには、菊地社長をはじめ会社の従業員のご理解をいただき、又、ご期待にそえるよう、柔道部いちがんとなつて柔道の稽古に励み社会人としても充実した生活を送りたいと思います。

第36回  
全日本実業柔道団体対抗大会



優勝記念



加瀬  
次郎



諏訪  
剛

(予定)  
長谷川敦  
柳田明雄  
佐藤英彦  
廣瀬徳和  
大村将司  
宮下潔  
昭和53年入社  
昭和34年入社  
市原弘  
53 52 52 51 51  
54 54  
55 55  
56 56  
62 62

柳田明雄  
佐藤英彦  
廣瀬徳和  
大村将司  
宮下潔  
昭和53年入社  
昭和34年入社  
市原弘  
53 52 52 51 51  
54 54  
55 55  
56 56  
62 62

3

この偉業は今日もなお多くの後進に受け継がれている。

旭化成は創業以来半世紀を超えてなお躍進を続け、国際的な活動も展開しつつある。延岡工場を母胎として成長してきた旭化成柔道は幾多の栄光と試練を経て今日を迎えたが、その活動は永遠に続けなくてはならない。又、旭化成が未来に対応して、着実に進展していくのと同じく、我が旭化成柔道部も伝統の火を絶やすことなく、柔道に志す者すべての努力を糾合して、着実に研鑽を重ね、将来の大成に向って前進してゆかなくてはならないと考える。特に明治大学柔道部との関係については付表の通りであります。

旭化成柔道部への新制大学卒で入社者第一期は昭和二十八年度からで、第二期二十九年度卒 岩崎先輩から五十年度卒までの大卒部員は、五六名を除いて、ほとんどが明大卒で固まっていました。

その間の戦歴成績等につきましては長文になりますので割愛させていただきますが、我社の柔道部は延岡市の道場に集まり一諸に汗を流し、時期がくれば巣立ち、旭マンとして立派に仕事に励んでおります。社内では岩崎、中野両先輩が部員の模範として大変評価が高く、我々後輩としても恥をかかないよう、いろんな面で頑張らなくてはならないといつも反省している次第です。

尚、五十年度以降は残念ながら一人も明治大学柔道部からの人社者はありません。明治大学柔道部の活躍が落ちた事に伴つて、他大学からの採用に重点を置くようになったことは、誠に遺憾に思っています。



## 明治大学柔道部と旭化成工業株柔道部

甲斐 福男

編集部より突然、小生に對して原稿依頼がありまして、さてと困ったが、思いつくまま書くことにしました。

従つてまずは先輩、後輩の皆さんには乱文をあしからず了承いただきました。

さて青春時代を振り返って記録を読み返し、在りし日の写真を眺めるとき、道場の中での文字通りの猛練習や數々の試合の思い出、ハメを外して呑み喰いしたことなど、今ではいろいろと思い出として懐かしい、人來たり、人去つて涯しく歴史の中でそれぞれに時代は違つても「我々は明治大学として旭化成柔道をやった仲間」という、このことを永遠のものであらしめたい。

旭化成工業は大正二年宮崎県延岡が発祥の地である。創業の当初からおそらく柔道並びに剣道を社技として育て、發展させ隆盛に導いてきたことである。とりわけ古い歴史は良くわからないが、私の知る限り旭化成柔道の事実上の産みの親であり育ての親であったのは大勢の人がおられる中でも、故村本誠(元副社長)氏と鳥井直(元常務)氏、東郷一郎(元専務)氏に負うところ極めて大きく

しかしながら、大学柔道部も大学側の理解と協力又、先輩学生が一体となって、再起を図っている様子を見る時、これらはその成果も大いに期待出来ると確信しています。

あたかも昨日十月九日（日）この原稿を書いている途中から、全日本学生柔道個人選手権大会に応援に行きましたところ、一年生の小川君が勝ち残り、とうとう決勝戦まで進出してきまして結果見事、優勝致しました。

久し振り「四十七年の上村君（選手権）」の優勝で大会終了後、祝賀会を大阪明柔会と学生で開き、美酒に酔うことが出ました。

これからもこの輝しい歴史を継続されますようお願いします。さて、話は戻りまして今後も引き続き明治大学より旭化成に入社していただきよう、私からもお願いしたい。また、現在でも続いています長い延岡での、大学と旭化成柔道部の発展を祈る次第です。これからも明柔会の皆様方のご協力ご支援をお願い申し上げます。

最後に学生柔道の雄、明治大学柔道部の益々の発展を祈ることともに、旭化成と共に歩んできた実業界柔道の雄、旭化成柔道部の発展を祈る次第です。何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

## 明大柔道部と新日鐵

丸谷 武久

よく、親戚関係であるといわれている両柔道部の年間スケジュールを御紹介致します。  
一月 明大の寒稽古に参加（当社部員全員が参加）。  
三月 明大柔道部が広畑にて春期合宿を実施（親善試合等を含めた合宿）。

四月 広畑柔道部の東京遠征（明大柔道部との親善試合を含め在京チームとの交流）

さて、明大・新日鐵と進んだ選手といえば金子先生、故曾根先生、神永先生を始めとして多くの先輩後輩の方々が世界的な檜舞台で活躍されておりました。

また、本社部員が毎日練習させていただいている次第であります。

ところで最近の鉄鋼業を取り巻く環境は、円高等の影響を受け極めて厳しい局面に達しております。従って、当社においても運動選手の採用が極少数に限定されてきており、部員の数は減少の一途をたどっております。また、明大柔道部においても同様の感がします。



駿河台の道場には時々、練習を行っておりますが〇Bの方々も年々少くなり、新日鐵と同様寂しい限りです。しかし藤原選手の全日本選手権大会での準優勝、一年生小川選手の全日本学生選手権での優勝と明るい話題があるのも忘れてはなりません。

この様な状況下において両者に共通していえることは今後はまさに「実力+人海戦術主義」から「実力養成+少數精鋭主義」に切り替えていかなければならぬ時代になつたといつても過言ではないと思います。

以上、誠に簡単ではありますか今後も、明大柔道部から沢山の選手が新日鐵に入社され活躍されることを願つてやみません。

最後に明大柔道部の全日本学生優勝大会での王座奪回を期待し、皆で「優勝の歌」を唄える時が一時も早くくるのを待ち望んでおります。（50年度卒）

## 明大柔道部卒・旭化成入社者・名簿

氏 名	卒 年	現 職	備 考
岩崎 勇	30	旭化成(一品香食品株)	一品香副社長
中野 竜	31	日栄㈱	旭化成→日栄㈱
甲斐 福	34	旭化成大阪本社	
重松 正	36	旭化成大阪本社	
栗原 英	38	宮城県警	
佐藤 幸	39	新日本プロレス	
坂口 征	40	福岡県警	
上野 武	41	旭化成日向事務所	
山本 裕	42	男鹿興業社	
国安 均	46	旭化成(旭フーズ㈱札幌支店)	昭和40年全日本選手権者
梶原 博	47	旭化成東京本社	
上村 春	48	旭化成(チッソ旭肥料㈱富士出張所)	昭和48・50年全日本選手権者
薦田 茂	49	旭化成(旭フーズ㈱名古屋支店)	モントリオールオリビック優勝
田中 弘	51	旭化成(旭フーズ㈱名古屋支店)	社長(旧姓 佐々木)

# 激動の社会はスポーツマンを求めている

松田 滋夫

## 要求される10の条件

今日の実社会は、内外ともに激動の真っ只中にある。これに対応してゆくためには、以下の十の条件を兼ね備えた人材が要求されると思う。

その十の条件とは、健康、明るさ、フェアプレー、チームワーク、統率力（部下教育、行動力、決断力、忍耐、勇気）極意である。こうした条件を兼ね備えた人材はスポーツマンが多く、この観点からすれば、「激動の社会はスポーツマンを要求している」といっても過言ではないだろう。

私なりに逐条的に説明を付け加えてみよう。健康については「健全な精神は健全な身体に宿る」という格言があり、今さら説明を必要としないだろう。明るさに関しては、斎藤英四郎経団連会長が信条として「明



スポーツマンの明るさは、フェアプレーから生まれるが、柔道など格闘技は、チームワークと統率力を養う。産業界が求める理想的な人材像でもある。

打ち込んできた。試合の相手がわかつたその時から、私は相手の得意技、気性、健康状態、人間性まで徹底的に分析研究した。勝つという自信と敗れるという恐怖が交錯していく私も苦しみ始めた。いかに効果的に闘うか、私は熟慮に熟慮を重ねた。相手と対峙したその刹那、恐怖は霧消していた。相手の体に手を触れた瞬間から己れというものはなかった。

ふと我に返ったとき、相手は倒れていた。無我のうちに、ある決断が終わっていたのである。

忍耐、古い言葉だが、辛抱と言ひ換えてよい。戦前・戦中派は、辛抱の時代。を生きてきた。衣食住はもとより、あらゆる欲望を極端に抑制され、唯ひたすら我

るさを見て暗さを見出す」という言葉を擧げておられるが、名言だと思う。

スポーツマンの明るさは、フェアプレーから生ずるものであり、柔道とかレスリングのような格闘競技でも、校試合などではチームワークがものをいう。良きチームワークは優れた統率力のもとに強化される。良きチームワークのもとに育成されたスポーツマンが上司の命令を遵守するのは当然だろう。

激動の時代には、スピーディーな対応が必要なのはいうまでもない。スポーツマンにはこれをする行動力がある。迅速な行動力が、正しい決断力に裏づけられたものでなければならぬのはもちろんである。熟慮なき決断は衝動に過ぎない事前の分析なき決定は暴虎鳴河の勇に過ぎない。熟慮の深さとは正比例する。「分析の確かさと決断の正しさとは正比例する」というのが、私が長い柔道の修練から体得した成果である。

人生には、どうしてもある決断をしなければならないときが幾度かはあるものだ。ぎりぎりの岐路に立って如何に決断するかが、その人の人生を左右することが多い。

決断は極めてむずかしい私はずつも熟慮ある決断を常とした。そして、決断ができるたら果敢にこれを実行にしてきた。結果は殆んどの場合、間違っていかなかったと思う。

## 辛抱が必要な時代

私は小学校五年のときから二十余年間、ひたむきに柔道に

慢してきた。旧い世代が戦後の若い世代をよく理解できないのは、耐え忍ぶという共通の体験がないからではなく。高度成長の時代が去ったこれから日本に、辛抱ほど必要なものはないと思うのだが、我慢など馬鹿らしい、時代おくれの人間がすることだ……というのが当時の風潮である。食糧危機、インフレ、地震などで、好むと好まざるとにかくわらず、われわれが耐乏と我慢を強いられる日が来るような気がしてならない。

昔、年寄りからよく聞かされたものである。「私たちの時分は、苦労は買って出したのだ。年をとると、できた辛抱ができるなくなってきた」と。私も年齢とともに意氣地がなくなり、甘えを反省する今日この頃である。

流动してやまない世の中に立ち向かうには人一倍の勇気が必要である。逆境のどん底に叩き落とされても、這い上がりみてせるという不退転の覚悟が必要である。勇気と覚悟は稽の画面であると思う。

誰しも災難に直面したとき、逆境や不幸のどん底に叩き落とされたとき、平素から覚悟はできても恐れ戦ふものだ。ましてや生命的の瀕死際に立たされたときは、なすところを知らずという状況に陥るだろう。

## 極意は体得するもの

私はマラソン、水泳、テニス、レスリングとあらゆるスポーツをやってきたが、最終的には少年の日から柔道に精進し

この柔道で、私は数十回は縮め殺されている。初めのうちに抵抗すればするほど苦痛の時間も長かったが、何回も縮められているうちに、無駄な抵抗をしない方が苦しみが少ないことを知った。人事をつくして天命をまつ者の心境だらうか。

他人との闘いは易く、己れとの闘いは難い。最後の最後は自己の精神と肉体をまじえない妥協なき闘いといえるだろう。

最悪のときを覚悟しつゝ、生命的の焔が燃えきるまで生を見つめる強靭な心を持ちたいものと精進を続けている。

最後の極意だが、これは師から教わるものではなくて、自らが悟るものである。柔道でいえば、相手と対決したとき、足の動きを見て防御する。これに対し有段者になると、相手の腰の動きを見て攻防を決め、高段者になれば、先に感じる柔道の感覚から相手の動きを知る。さらに練達すると、相手の眼の動きを見て、その技を知るようになる。なぜ「眼」を見るかというと、眼は人間の思考・動作の原点であり、心の動きを見て攻防を決め、高段者になれば、先に感じる経験があるからである。経営の道もまた同じであり、真の一眼の道場となる。

とかく秀才は部生活に入らなかったがいい。何の力も肌で知る一休得するということは部活動でしか修練できない。体得は頭脳の分野ではなくて、からだの特権なのである。

(協邦通商社長 昭和十年度)



## 夏 合 宿

原 吉 実

今、わが部員に一番必要な事は耐久力をつけることである。辛さ、苦しさに耐える心、身のスタミナである。もちろん明治が他校と比べ、この点で特に劣っているとは思わない、そこそこのものは、皆持っている。だから「今一番欠けているもの」とは書かない。

私は柔道は限らず他の競技に於いても訓練の中味で他に差をつけたものが勝つ、と同じである。「云うまでもなく、この訓練とは一ヶ月や二ヶ月間のことを指しているのではない。大会が終った瞬間から次の大会が始ま直前までの期間を云う。だから心身の消耗は並みではない。

明治が勝つためにはこの耐久力の涵養に於いて絶対他校に先

きんじなければならぬ。勝ち続けている時であればこの点に多少のゆるみがあつても流

れる勢いが、あるいはそれを補ってくれるかもしれない。

しかし、厳しい時代に入つて十余年、再び優勝旗を駿河台の道場に飾ることを願うならば、この課題を避ける訳にはいかない。只々、他校をしのぐ練習を重ねるのみである。

しかしながら十分な練習をやつたらといって必

ら勝つとは限らない。これが勝負の悲しいところである。だが、やらなければ絶対に勝ちの目はない。

以下は私が後輩指導の指針としている黄金時代を築いた先輩の言葉である。「私は自分の技術や練習方法に絶えず疑問を持つて稽古をしていたので、気がつくといつも体力の限界近くまでやつていた。おかげで練習（3回）で道場集合、八時半～十時半分稽古十時三〇分～十二時ランニング（3回）石段上り、十二時半～三分食事、食後～二時半（3回）まで休息、二時半～三分ランニングで道場集合四時半～五時半まで稽古、四時半～五時半三分まで海浜トレーニング、ランニング、七時試合をした。だから自分がつかれて来た時はトレーニングのスケジュールを簡単に紹介する。起床六・三〇分、体操ランニング、（3回）で道場集合、八時半～十時半分稽古十時三〇分～十二時ランニング（3回）石段上り、十二時半～三分食事、食後～二時半（3回）まで休息、二時半～三分ランニングで道場集合四時半～五時半まで稽古、四時半～五時半三分まで海浜トレーニング、ランニング、七時食事、九時就寝。

期間中、二名が怪我でリタイアした。彼は異常に予定のメニューを消化した。一週間通した炎天下をよく頑張ったと思う。特に重量級が不得手のランニングや山登りで遅れながらも、ギブアップをしなかつた事はほめて

東京：〒111 東京都台東区浅草 6-22-13  
TEL 03(675)2851

大阪：〒540 大阪市北区帝堂町 1-37  
TEL 06(945)0920

広島：〒733 広島市西区大須町 13-23  
TEL 082(21)0092

パリ：パリ市8区 フォーブールサンソノ通り9番地  
TEL (265) 2906

大 国 伸 夫



オーケージャパン株式会社



KYOHO TSUSHO KAISHA, LTD.  
取締役社長 松田滋夫

本社 東京都千代田区神田須田町1-23-2  
電話 (255) 8151  
電郵 KYOHOTORG TOKYO

やりたい。又休みを返上してO.Bの柳田、藤原、小山、中村、今堀が東京から参じてくれたのはうれしい事であった。

最後に、期間中度々食糧品をとどけて下さった地元の父兄、いつも身内同様にお世話を下さる旭化成の関係者にこの稿をかりて厚く御礼申し上げ合宿の所感とする。

## 台東区柔道会

(31年度卒)  
理事長 丸山彰治

計報					
S 26年卒	神田 和夫氏	奥 様	S 61年10月2日		
S 51年卒	大村 将司氏	御母堂様 (本人死亡)	S 61年10月7日		
S 8年卒	浜野 正幸氏	の奥様	S 61年10月14日		
S 40年卒	辛島 雄健氏	御本人	S 61年10月25日		
S 22年卒	長山 大乗氏	御本人	S 61年7月11日		
S 5年卒	田中 一郎氏	御本人			

### マネージャーだより



渡辺英明

冒頭に、現役  
学生に対する日  
頃の御支援に対  
し、部を代表し  
て、心から御礼  
を申し上げます。

さて、年もおしまり、寒さも一段と厳し  
なつてしましましたが先輩諸兄に於かれま  
してはいかがお過しでしょうか。

柔道部は十一月末のジュニア世界選手権国  
内予選を最後に本年度の全試合日程を終い  
ました。振り返って見ますと、昨年度に  
引き続き我々人の多い悔いの残る一年であり  
ました。今は皆一人の達成感を抱き復活して  
来ているところから暮るの抱み合はれて、絶対シ  
ーズンオフの油断がない様、気を引きしめ  
て幾分でも遅れを取り戻す稽古に取り組んで  
います。尚、東京在住の部員は正月返上で頑  
張ることになつております。

他のページでもやられていますが、一年  
生の小川が監督の上村先生以来、一四年ぶり  
に学生選手権をとりました。

S 26年卒 神田 和夫氏 奥 様 S 61年10月2日  
S 51年卒 大村 将司氏 御母堂様  
(本人死亡) S 61年10月7日  
S 8年卒 浜野 正幸氏 の奥様 S 61年10月14日  
S 40年卒 辛島 雄健氏 御本人 S 61年10月25日  
S 22年卒 長山 大乗氏 御本人 S 61年7月11日  
S 5年卒 田中 一郎氏 御本人

この優勝は、全員で大  
きな刺激を与えて、道場の  
活動も一段と増えて来ま  
した。これは、本人の頑張りもあつたでしょ  
うが何といっても日頃から部を支えて下さる  
先輩方の御支援と、バックアップのおかげが  
あったからこそ感謝している次第です。

今年も夏には旭化成㈱の御協力を得て昨  
年に統いて、延岡で合宿をもつ事が出来まし  
た。御存知の様に宮崎の夏は、非常に暑く、  
ギブアップ寸前の者も出ましたが何とか乗り  
切ることが出来ました。これは本人達の大き  
な自信につながるものと思います。  
いつもの事ではあります、この合宿期間  
中、指導、協力を頑いの山本裕洋先輩をはじめ旭化成の関係者の方々に遅ればせながら御  
礼申上げます。又地元の父兄の方々にも色々  
御心配を頂きました。

次に、或いは失礼かも思いますが、最近  
合宿所に激務の品を届けて下さった先輩方を  
お知らせします。  
小野先輩(三〇年度)牛肉。村上先輩(四四  
年度)トレーニング器具、ヘビーハンズ(オ  
ーストリリア製)一二組、吉沢先輩(四五年度)  
お茶、柿。浜本先輩(五一年度)ネーム入り

タオル。旭化成㈱柔道部O.B、桑原氏、加工  
食糧品。又、現在、滝米中の法医学部、栗本教  
授より、部費のたなしにしないと現金五百ド  
ルが原助監督あてに送つてまいりました。以  
上、部長 監督にかわって厚くお礼申しあげ  
ます。

この十二月に幹部の父兄があり、新主将に  
橋本年弘、副主将に古田勝久、飛松秀樹が  
選ばれました。主将橋本年弘を中心、全部  
員一丸となり、来年の優勝に向けて頑張る覚  
悟です。

全国O.B御支援にこだわるるには、只稽古あ  
るのみと信じております。今後、尚一層の御  
指導と御鞭撻をお願いいたします。

簡単ではあります、本年度後期のマネー  
ジャーだよりとさせて頂きます。どうか良い  
御年をお迎え下さい。

尚、新年の寒稽古は一月八日から十五日ま  
で行います。時間は朝七時からです(日祝日  
は九時から) 諸先輩の御参加をお待ちしてお  
ります。

# 明大柔道部修業時代を「今」思う

佐藤 治

昭和三十三年入学、三十六年までの学生生活を振り返り、現在の柔道部員、過去の柔道部員の気の持ち方等、比較、参考になれば幸いである。柔道部道場は同じ場所ではあるが、当時の一年生の私は、五階までの階段がものすごく長く感じられた。

道場に入ったとんびーと張りつめた、異様な空氣の中に入り込む、一年生は二〇分前には道場入りしなければいけなかつた。

柔道衣に着がえて先輩の柔道衣をすぐ持つて行く体勢で先輩を待つ。青森の高校（現青森北高校）を出た田舎者には、「一日失敗をしない様気をつけるのであるが怒られる事が多かつた。練習はどの様にしたか定かでないたゞ夢中の練習であつた。

練習開始〇分位前になると整列の場所に集まり、時間が来てのあいさつ後、「体操、オーバー」と言う声で練習のスタートである。号令をかける一年生の声、大声で氣合が入つてい。小さい声だとすぐ「やり直し」とにもか

くとも大声を出すことであつた。

練習はとにかく先輩に当たる、先輩方の練習時には全く笑顔がなく目には何かに勝とうとするするの難堪は、年生が後ずさりするに余りある。弱い自分は常に投げられ役が適当であった。中には年生をつかまして、投げまくり、絞めまくり、半分落としては放しこれを何回かくり返し最後は落す、これを楽しんでいた方をもいた様に思つ。それは弱い者を強くしようとする先輩の情と思わざるを得なかつた。弱い者は投げられ役、強い者は投げ役、だが弱い者でもいつかは投げ役にまわつてやるぞ、との根性だけは持つて苦しむ練習に耐え忍んだ。

ある朝のトレーニングの時、一通りのメニューをこなし終りに近づいた頃ある先輩が自分なりのトレーニングをした。自分もど思ひ一緒にさせてもらおうとしたら、先輩がすぐやめてしまった。変に思いつづまた先輩に悪いことをしたと思いつまつたら、いらんことするな」と怒られた。この事が自分の柔道を大きく変えた。先輩でも倍もやつてるので、一年生同士でも投げられ役の自分は、人の何倍も練習し、早く自分の柔道を作らねばと思い、道場でケガがどうぞつき、見取り稽



近影 自宅にて

40

古に専念し、自分はどの様な技が合っているか先輩方の練習をみて、技を盗み打込に励んだ。

当時の先輩方は一人一人が自分の柔道を持っていて、今まで見たことのない迫力のある技ばかりである。あれもこれもと覚える技が数多くあった。ここで柔道に対する希望めいたものが沸いて来る。打ち込みの日が続いた、お陰で各先輩には、非常に無礼を働いたらしい、練習しても怒られる事が多かつたと

言つうことはたぶんそうだったのだろう。

その後、試合（段別大会）に出していたたき決勝で休憩して勝てた。自分では無意識に出た技であった。どうして無意識のうちに技が出たのか考えてみると、練習していくだけの先輩でもよし、同輩でもよし、高校生でもよい、ただ相手より早く組み勝ち一本でも多く、相手より先に技をかけ、かかっても良し、かからなくても良し、返されても良いそれを無意識で練習することが大切で、これがこの試合に出たのだな、と思った。

おかげでまた一つ大きな収穫があった。二〇本位練習すると弱い者は思考力がなくなってしまう。体力も限界に近づく、そすると頭の中が「空」になる。だが不思議なことに、相手の唯一の接着力である手の力で相手の動きが分り自分の体が意志とは別に勝手に対応する様になつた。

これが無意識のうちに技が出来る事なのかと思ふ、練習時は出来るだけその様になるまで自分を追い込んで練習した、と思っている。

二年生より、思つても見なかつた代表選手になり、二、三年の時代に三連敗、最後の四年生時代、明大史上初の三連敗するかと注目された、すでに、東京大会は日大に敗れ三連敗

東京大会で敗けても、金日本で勝つのが明治と言われた明治魂の重さを胸に、金日本までの精神的に追いつめられた一日一日の長く苦しめた事が鮮明にみえる。

試合は勝った。三年間で一度の優勝の喜びより、勝つて当り前の明治精神と輝かしい伝統に傷をつけなかつた方がうれしかつた。

明大柔道部は、勝つて当り前「取るなら取つてみる優勝旗……」を胸を張り、誇らしげに歌うことが出来た。

仕事柄、各地を歩くが、当時を知る他校のOBに、最近はあり歌をきかんなあ、あの時代はまた聞かされるのかと半分あきらめつつ聞いたものだが、と暗に弱くなつた明治と言いたいのだろう。だが今はかならずや、胸を張り、強い明治の復活は時間の問題である。明治の伝統は受け継がれている。いくつかの反省も必要である。その基となる明治大学柔道はどこにあるのか、もう一度原点に戻り、原点より歩みはじめ道が開けたなら走り出して欲しい。

明大柔道部の輝やかしい伝統を築かれたOB諸氏は、決して素質だけ築いたのではない、目標を高く持ち、挑戦する勇気と向上心、勝つんだと言う、自觉燃え努力に努力を

重ねた努力家の大集团であつたことだけは確かである。

さてして実績のない自分が一番誇りに思つてゐるのは、明大柔道部員として、伝統を守るために運ばれ、その任務を果たせた事である。「取るなら取つてみる優勝旗……」この歌を聞けるのももう少しの辛抱である。

実際に待ち遠しい。

△三七年度

岡山市在 梶サトハル社長▽



タオル製品販売

四国商事株式会社

平成15年6月1日付第122号  
登記第1号

本店：〒780-0012 香川県高松市今里町1-1-21  
電話：080-9655-4422 FAX:080-9655-1502

支店：〒780-0012 香川県高松市今里町1-1-21  
電話：080-9655-4422 FAX:080-9655-1502

浜 本 義 典 (51年度)

# 追悼文

## 義父 長山一郎について

昭和61年7月10日、腎不全のため72才で死去。太正3年生れ、茨城県出身、昭和9年明大中退、従軍で陸軍に入隊、昭和14年北京で満期除隊、帰国せず華北交通公司に入社、昭和18年、北支方面軍報道部報道部員、昭和20年内地引揚げ、明治法医学部再入學。同部新聞科及び政経学部（昭和23年・昭和25年）卒業、UP記者を経て、平和相互銀行入行、昭和43年停年退社。

前述通り、戦前生まれの同世代の多くの人々が経験した青春時代と同様、世界への飛翔・微兵・侵略・経済封鎖・第一次世界大戦・敗戦・復興など幾度か死に直面し、軍国主義と民主主義・飢えと飽食と私争い想像もつかない波瀾万丈の人生を過しました。その小生でも、



長山一郎  
（昭和42年卒）中本義行

第32回 明柔会ゴルフコンペ参戦記

（昭和42年卒）中本義行

初冬のやわらかい日ざしを受け、11月21日千葉県姉ヶ崎カントリークラブにおいて、第32回明柔会ゴルフコンペが開催されました。（東コ・スアウト9時スタート）

参加者は神田先生はじめ、遠く大阪より甲斐・大橋両先輩の参加をいたしまき総勢21名で盛大に行われました。

スタート前の競技説明、記念撮影と進み、

例年通り、あちらからこちらからショーケー

飛び交い、和氣あいの内、日頃鍛えた、腕と口……を競う熱戦の火蓋が切って降りました。優勝は誰もが予想しなかった（本人人は密かに狙っていたかも……）篠巻君がアーチギリの11アンダーで優勝は戦前より優勝の呼び声の高かった神田先生が実力を発揮しアーチグレイで入賞されました。3位には小学生がハンデ28とバートナー（神永先生、大橋先輩、香川君）に恵まれ1オーバーで、入賞することが出来ました。ベスグロは、実力通り大阪より参加の大橋先輩が取られまし

まして飽食時代の戦後生まれの人達にはとうてい理解出来ないことが思われます。さて義父の大学生時代、よく柔道部での生活ぶりは殆んど聞いていません。恐らく籍を置くというだけで生活の為に及々とした毎日を送っていたのでしょう。

義父は柔道以外に、何故合気道を始めたかを聞いた事があります。それによると、戦時中の北京（日本が占領時代）に居た、ある時早期公園を散歩していると、15～16歳のあどけない顔をした少年が、独りで静かにゆっくりと身体を動かしている。それは舞をまつて聞いた事があります。それによると、戦時中の北京（日本が占領時代）に居た、ある時早期公園を散歩していると、15～16歳のあどけない顔をした少年が、独りで静かにゆっくりと身体を動かしている。それは舞をまつて

聞いた事があります。それによると、戦時中の北京（日本が占領時代）に居た、ある時早期公園を散歩していると、15～16歳のあどけない顔をした少年が、独りで静かにゆっくりと身体を動かしている。それは舞をまつて

聞いた事があります。そこで、その少年に「何をし

ているのか？」舞踊の練習か、それとも体操の練習か、とたずねてみた。その少年が頭を振って、「これは中国古來の武術です。その練習をしてるところです」と答えた。そこで、

すごい武術があるものだ（注）あとで調べて見るこれが武術派太极拳であった」と天

を抑いた。未知の世界が多い。そして、自分

た。今大会は、前回までのスコア一参考にハンドが改正された第一回目の大会となりました。明柔会コンペに参加する度に驚かされるのは、豪快なドライブショット、今回も大橋先輩、同期の北瀬君のドライブショットには、改めて驚かされました。そのお陰で力が入り過ぎ、ショットを出す人も多く見られる様です。コンペ終了後、パーティが開かれ、神田先生の開会の挨拶。成績発表が行われた後、恒例の入賞者、挨拶があり、優勝の篠巻君は、「神田先生と同じ組で廻り、午前中のスコアからすると、神田先生が優勝されるのがどちらかと思っていたが、午後にスコア一崩されないので、何とか頑張ろうと思ってプレーをしました。又、日前に特別コースを受けたのが、良い結果に結びついた」と挨拶、又、メカカルフコンペを成功に導いた幹事の鈴木先輩岩田君に御礼を申し上げ、結びとさせていた

きました。最後に毎回毎回、細密な計画を立て、ゴルフコンペを成功に導いた幹事の鈴木先輩岩田君に御礼を申し上げ、結びとさせていた

（34年卒）金丸国一

△博報堂勤務▽

の話を聞き、拍手喝采の内、パーティもお開きとなり、互に今後の健康と再会を約束して、それぞれ帰途につきました。

皆様本当に有難当御座居ました。



優勝 篠巻政利

以上

のやうなことを悟った。

時が流れ、敗戦となり帰国し、明大に再入学し、卒業してサラリーマンになり、やっと

落着いた時、中国のあの少年の「八咫」を思いで出し、日本伝統の色々の武術を尋ね歩いた

空手・剣術・腕相撲・相撲……その他の古武術として、もう柔道を練習する体力もない

自分に合った武術として入門したのが合気道であった。そして後年教える事が出来るまで

高段者となつた。そういう理由で停年後、自宅を合気道道場兼用とし、後進の指導に情熱をもやしました。義父が特に強調していた

のは、儀礼作法と精神修養についてでした。

その他、晩年は中国の偉人歴史を研究し

発表したり、外国旅行をしたり、へら舟釣りに凝つたりして余生を過ごしました。

尚、葬儀の際には多くなると厚情を頂き賓

の心よりお札申し上げます。

# 怪我道場往来

怪

我

である。

部員達の「反省と抱負」を読まれて、彼らの半数以上が怪我の反省をしている事に、気が付かれたと思う。あまりのワンバーチンに驚かれたと思うが、これは彼らの自己分析や表現力に問題があるのではなく、悲痛な現在の心境なのである。

怪我人の状態は様々だが、重いところでは幸い大事に至らなかつたものの、頸椎を痛めたのが二人、一人は最近漸く練習をはじめた一人は骨の移植手術を受けたので半年たつ今も、コルセット姿でリハビリにあたっている。昔と違つて、病院が容易に外科手術をする時代とはいへ、今年、手術、入院をしたのは六名にのぼった。

夏の全国大会では主将の長谷川を肩の脱臼で欠き、悔しい思いをしたが、入学早々に傷めた体がおらず、四年間ろくに稽古もしないで卒業していくものもいる。質量とも昔をしのぐ練習をしているとは思われないので、食べるだけで、栄養の事など考える余裕の

昨年春など、余りバタバタいくので、篠巻監督にお払いをしなくては、と半ば真剣に考えたほどだった。

ただ、この怪我人続出というのは、我が部

に限つたことではなく、優秀選手が集まる全柔連の強化練習に於いてもコーチ陣最大の悩みとなつてゐるらしい。稽古や試合中の怪我は昔も多かった。

しかし、みな難症であつたというか、回復

が早かつたというか、まるまる一年間を棒にふつてしまふ様なケース是非常に稀であったと思う。

国民的体格がよくなり、スポーツの分野では皆、合理性を重視した練習方法を取り入れている現在なのに何故? と思うのだが、

体位の向上とは関係なく、競技中、最も傷めやすい骨と、それに似た組織、腱の強さに限つては、現在より一昔前の若者の方が強靭で

いたのは、なぜ砂糖がカルシウム不足の原因になるのだろうか?

体内に入つて酸を作る食品を酸性食品といふのは、余分な酸を中和して、すぐ体液が酸性度に保たれる仕組みとなっている。体液が酸性に傾くことは生命維持にとって重大な脅威となるからである。



順位	NAME	東OUT	I	N	GROSS	HDCP	N E T	RANK
優勝	篠巻政利	46	43	89	28	61		
2位	神田和夫	39	49	88	14	72		
3位	中本義行	51	50	101	23	73		
4位	大橋武彦	D.C.	42	43	85	9	76	B.G
5位	山田朝彦	43	50	93	17	76		
6位	福田二朗	N.D.	45	44	89	12	77	
7位	坪昌二		45	54	99	20	79	
8位	岩田久和		47	52	99	20	79	
9位	鈴木愛忠		46	48	94	12	82	
10位	伊藤義一		53	56	109	26	83	
11位	甲斐福男		46	47	93	10	83	
12位	段上道夫		62	57	119	36	83	
13位	北瀬暁一	D.C. 2x	46	46	92	6	86	小波
14位	香川景政		55	54	109	20	89	
15位	高田誠之助		51	53	104	14	90	
16位	神永昭夫		57	50	107	16	91	
17位	加藤木祐司	N.P.	59	60	119	28	91	
B.B	町田良行		63	65	128	36	92	
B.M	稻田寿郎	N.P.	50	58	108	14	94	

従つて、血液中のカルシウムも酸を中和するために消費されると、すぐ補充されてもとの一定の濃度になるような仕組みになつてゐる。

カルシウムの貯蔵庫は骨で、九九%が骨の中にある。血液や液体のカルシウムが足りなくなると、ホルモンの働きで骨の中のカルシウムがとかされて血液の中に流れ込み、いっぱい栄養として体外から取り込まれる。カルシウムは血液によって骨に運ばれて貯蔵される。つまり消費と供給のバランスが常に骨と血液の中にある。

酸性食品の中和による消費が多くなり、外からのカルシウムの供給が少なかつたりすると骨の中のカルシウムは減少したまま優先的に血液にカルシウムを供給し続けねばならない。現代の若い人達に、この様なカルシウム無効化をさせているのが砂糖だ。

人によつては、一日何本もガブ飲みしている涼飲料水一本に角砂糖が七個も入っている事を知っているだろうか。ネズミに水のかわり砂糖水を飲ませて飼育すると、二年間で骨はゼンペイのようにもろくなつてしまふ。

現代の若い人達は、その昔の十倍以上の砂糖をとっているそうだ。それに対して、補給

にあたるカルシウム食品の摂取量はむしろ低下してゐるという。カルシウム供給の小魚、海藻類、牛乳を十分にとる事、特に牛乳のカルシウムは吸収がよく、しかも手軽に入る食品である。学生諸君は即刻、日頃飲んでいるコラーゲンを牛乳に切りかえる事である。

## 小野先生

「オイ、小川これですぐ、親父と小野先生に知らせて来い。」と云つて、甲斐福男先輩がトロフィを抱えて戻つて来た小川にかけよう。

涙だけあつたが、一彼は鼻水ひどく走りすり上げ、先輩に深々と頭を下げるの小走りに室を出た。明柔会の電話帳をわしづかみに渡された。マネージャーの丸っこい背中がそれに続いた。

人影もまばらになつた会場では、国際大会参加のため、本大会に来る事が出来なかつた上村監督にかわって原助監督が記者団に囲まれていた。こちらも漸く興奮がおさまり、コチの立場から小川の優勝を分析していた。

「年生の優勝は正に好運のいたすところであるが、試合で見せたあの闘志だけは、ほめてやつてほしい。もし、指導者としての評価を頂くならば我々ではなく、彼の才能を見つけ難い柔道は大学に入つてから、と受身から入った小川に三年間徹底して基本を教えた、八王子高校の小野先生(三〇年)度に頂いた、——という様なことをこちでも語つていた。

小野実(三〇年度、東京都出身)は現役時代、ケガに泣いた時期もあつたが復帰後は、仲々の活躍を見せ当时第一人者の一人で不敗した。明治の撲殺は久々の勝利をもいていた。

表形式の間に乾いた汗と涙が、カードを受けた。一年生の顔に又流れ出した。今度は涙だけあつたが、一彼は鼻水ひどく走りすり上げ、先輩に深々と頭を下げるの小走りに室を出た。明柔会の電話帳をわしづかみに渡された。マネージャーの丸っこい背中がそれに続いた。

人影もまばらになつた会場では、国際大会参加のため、本大会に来る事が出来なかつた上村監督にかわって原助監督が記者団に囲まれていた。こちらも漸く興奮がおさまり、コチの立場から小川の優勝を分析していた。

たい。という態度を貴重してくれた。

この様な指導のおかげで小川の柔道は実際にノビノビとしており、稽古では種々の技が出る、大外刈、内股、払腰、足技も支釣足足を中心内刈、小外掛、と多彩である。まだ無細工ながら、仲々力のある体格もかかる、技のそれぞれはまだ落けずりでお世辞にもうまいとはいえないが、大型選手によくあるしやむに体力でもつていく大技ばかりではない。又、寝技が好きなもの頗もしい。

この未完の大器が、どんな柔道に仕上がるか今後の大きな楽しみであるが、それだけに指導にあたる人達は大変であろう。体が大きいので一見、スーパーハーモニーナーとしているが、根性はすわっている。試合場見せる、人が変わったな闘志はそれをよく物語っている。一年生回見事に、下山選手がいついう一年生チャンピオンに輝いたのだが、力、紙一重のライバルが目押してあることは本人が一番知っている筈だ。指導の問題もさる事ながら先ず、自分との戦に勝つこと出来るか何うか小川の将来は、その結果で決まる。小野先生との出会いに感謝し、謙虚に精進することである。

永昭夫と小野実が顔を合せた。話題は小川の事になり神永は「彼は素晴らしいものを持ってゐるので大いに期待できる。しかしあう少し時間を使いたい」という事だったそうだが、二週間後の好結果に大喜び。曰く、うれしい誤算だった。

因に小川の趣味は、おいしい物を沢山食べる事とテレホンカードの収集である。

## アジア五輪

今年はアジア大会の年であった。大会は主催国、韓国の大躍進で幕をとじたが、その反動をくらった日本チームの不申斐なさについて様々議論があつたことは周知の通りである。

そのなかで、スポーツは国のバイタリティといつて、やがて人心になる意見があつた。確かに、金メダルの数は、國の發展性や、若者の、バイタリティとまったく関係がないと見ていいのだろうか。負け惜しみを言えるうちはいいが、やがて口惜しさの感覚がまとめて踏み込んで考えるべきである。

まず、金メダルの数は、國の發展性や、若者の、バイタリティとまったく関係がないと見ていいのだろうか。負け惜しみを言えるうちはいいが、やがて口惜しさの感覚がまとめて踏み込んで考えるべきである。

文化でも経済でも「このくらいいいやの、

日本病がまん延したら恐ろいことである。資源小国に住む日本が負け、大意識を持ったなら先きゆきがない。韓国柔道選手の自み難解していた。若者には、あの気迫と闘争心が必要なのである。國や民族の發展を将来にとつてもである。

もちろん金メダルの数と國の知的水準とは、必ずしも比例しない、しかし、國の活力や文化的な発信力に影響がある事は否定得ない。

先般の嘉納治五郎杯国際大会の会場で、神

# 篠原一雄の足払い

篠原一雄（三四年度）は卒業間もなく留学のため渡米した。以来満米二六年、現在はアメリカ市民としてロサンゼルスに在住し、実業界で活躍している。

と云ふ訳であるから彼が日本の柔道界で活躍した期間は短期で社会人柔道のキャリアは無い。

愛媛県、銅山で知られた別子の出身（一七

二四、七〇kg）三一年入学、三年でレギュラ

ーになり四年時には主将を務めた。入学時か

らその立技に定評はあったが、上級生に進ん

だ頃には個性豊かな技術の持ち主が多くな

た。当時の柔道界も業師として一つ抜けた

存在となった。「柔能く剛を制す」の手本の様

な柔道をした篠原のタイプは国内でもすでに姿を消した感があるが、もし出来るものなら

ある。

冒頭にある様に軽量の彼が重量級に伍して

対外試合で活躍したのがわずか二年間、その



全米大会

から入ると、当時の業師といわれた人達が皆そうであった様に、彼も先ず相手に組ませ、自分の組み手は相手次第つまりどこをとっても自分の攻めが出来、同じ様に守れるという柔道で、近年見られる攻めは攻めの型で、守りは守りの型で、というスタイルとは基本的には異なる。特に足払いの時は持ち手にこだわらず彼の体勢によつては片手ではなく今まで技をきめていた。

「足払いは足で払つてなく腰で払うのだ」とよく云われる。この場合の腰とは技の力点（体の中心）の事であり、足払いに限らず技の巧、否はこの力点の確さにかかる。ころがるボールの様にどんな動きにあっても、中心が安定している彼の体さばきから放つ左右の足払いは調子技の一般に見られる助走步というか、導入部のリズムを必ずしも要しない。彼の場合、リズム即、運動神経というところの力である。だから飛び出してくるか解らないこの足払いにかかると、上手でない者は、動けば動くで投げられ、止まれば止まる。又飛ばされる、という散々な目にあってしまふ。「篠原さんの足はよほど強いんですね」これは、ほとんど軽い持ち手でポンポン技をきめている稽古を見ていた人の言葉である。

間に団体優勝の経験はあるが、個人としては三四年度の東西対抗戦で優秀選手に選ばれた他、これという戦績はない。にもかかわらず彼ぐらこの時代を知っている専門家の評価があり、又同時に、汗を流した仲間達に名前を忘れられない人も少ない。近年、ある出版社が出した「日本柔道、戦後の百人」という写真集に名勝負の一つとして彼の試合ぶりが紹介されていた。

又、講道館の評価が高かった事実として次の話がある。

現在の様に海外遠征が頻繁でなかった三三年秋、柔道大使（日系人移住五十周年祭）として、ブラジル派遣が決まっていたこの年の学生チャンピオン・神永昭夫が急遽怪我のため、出発出来なくなつた。その代役に篠原が選ばれたのだが、キャリアだけなら幾人も上がりた筈で、あえて軽量の彼が選ばれたのは講道館がその技術をかつていたからであろう。

二八年前のこの遠征を見送った小谷澄之十段

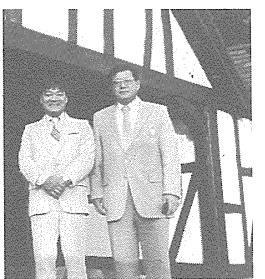
（現）が先日、「篠原君は元気にしておりますか」といっておられた。

余談になるが、柔道がまだ世界の競技となつていなかつたこの頃、一般的の外国人は柔道を神秘性を帯びた日本の武術を見ており畏怖の念さえもっていた。それだけに海外での指

導や試合は大変な仕事であった。難ばくに云えは、講道館柔道は必ずしも大男を手玉にとつて見せなければならなかつたのである。

さて、篠原の技であるが、稽古では出ない技がない、といわれた程多彩な技の持ち主で

あった。しかし篠原といえは足払い（出足払い、送り足払い、払い・約足）であり、これと右釣込腰に独特の切れ味を見せた。組み方



ロス五輪会場 篠原・神永

今までなく人の両足を足の力だけで横から刈りとれるものではない。しかし、その一瞬を手に崩し、動きをとらえて、そのまま百パーセントの力をもたき込める体さばきの出来る彼の稽古では、掛けの際の持ち手が単に補助的動作に見える時があった。この俊敏な足は変形ぎみや、強引な柔道をもつとも力にしたが、同事に足のきく相手を誘つてつばめ返しや、小内刈返しでよく捌いていた。

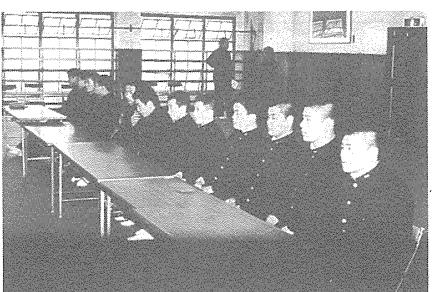
絶妙な動きに終始した彼の体格は柔道選手特有のゴツさながら腕力にしても特に圧抜けてはいなかった。しかし、どんな大型とやつても引きつけられてエビになってしまふ事はない、絶えず自分の間合を保ち自然体を崩さなかつたのは、体捌きの基点である腰と両手首の使い方に非凡なものがあったからで、この点は先輩の渡辺政雄（二十九年度、神永昭夫（三十三年度）の柔道と共に共通している。

三三三年の団体戦で緊迫した場面に登場した篠原が、百キロを有に超す相手を組みさま追込む様なさばきから左の払い釣込足でアッといつ間に技有利をとった。ついでその立ちあがりはなを、右の送り足払いで体が水平になるほど飛ばしたが、これは例によって一瞬

をとらえた足だけの技だったので真横に落ちて技入りとはならなかった。今の有効というところだろう。相手は色をなしてとび起きたが、有名選手の彼もこの二発に、すっかり度を失ってしまい、真赤になって、しゃにむに興奮をとらんと大きくぶみ込んで来た瞬間に度を失してしまった。真赤になって、しゃにむに興奮をとらんと大きくぶみ込んで来た瞬間に

今度は左の出足払いがクールに一閃した。わずか十数秒の動きであった。

会場から「オイ、T、スケートをやってるんじゃない！」という野次がどんごことを懐かしく思い出す。尚、篠原は渡米後、全米選手権で二回優勝している。



セレクションに参加した高校生

## 海外派遣

スカンジナビア三国指導、姿勢雄（団長）原吉実（コーチ）、新垣修（学生）、松田信久（学生）、七月、アジア五輪、上村春樹（ヘッドコーチ）、



河原 月夫

## 慶事

篠原政利（審判員）、十月。  
日本基業主催 アメリカ少年柔道大会、  
指導、今堀浩之、九月。  
全日本実業団チーム韓国遠征、上村春樹  
(監督)、小山賢二  
日本、サウジアラビア青年交流会、島海  
又五郎(監督)、小山賢二、十一月。  
栗原三千男(五十年度 新日鐵)、十一月  
三十日 中田久美さんと結婚、姫路玉姫  
殿に於いて挙式。  
檀上治享(六十年度 新日鐵)、九月二十  
日、糟谷徳子さんと結婚、姫路玉姫殿に  
於いて挙式。  
媒約人は両式とも北嶺暎(一四年度、  
新日鐵)、夫妻が務めた。

来年度の入部希望高校生の力を見分する恒例の新人セレクションが十月二一日道場で行われた。今年は上村、原、両指導陣が地方OBの協力を得て春から精力的に各高校会を回った結果が実り集まつた十二名は素質的にそれぞれ楽しみなどを備えていた。

石田君(世田ヶ谷高校)も参加した。OB各氏の他、OB八名。

## セレクション



**中國料理**

平田博俊 (三十年度卒)

本店 浅草雷門通り  
支店 雷門一丁目一〇〇  
八四一七五六六九  
二子玉川高島屋裏  
七〇一九九〇

正乃一

## 企画力、技術の生かされた印刷

- PR関係美術印刷
- 事務用印刷・ビジネスフォーム印刷
- 出版関係印刷
- ポリエチレン、ポリプロピレン各種印刷
- 製袋・加工、各種加工成型、シール印刷加工

有限公司 渡辺欣勝堂  
代表取締役 渡辺 欣樹

神田営業所 101 東京千代田区神田三崎町 2丁目12番1号  
営業時間 9時～24時 電話 (03) 3622-4655 (代)  
本社工場 115 東京都北区浮間3丁目5番28号  
電話 (03) 967-9317 (代)

河原原夫（四六年度）四月、愛知県警察  
部より警察厅警察大学教授に選転。  
藤本博（五七年、熊本県警）。十一月三  
十日文代代さんと郵便貯金会館で挙式。

## 道場来訪チーム

光一郎・膝ジン帯、半月板損傷、(未定)  
太田浩貴・ケイ稚撃挫、(二月)。菅原健  
介・膝ジン帯損傷(二年)。矢部康満、  
ヒシ脱臼(二月)。飛松和雄・足骨折(三  
月)。長田猛・膝ジン帯損傷(二月)。小  
林誉・膝ジン帯損傷

シリアナショナルチーム十五名、永井勝  
憲(三九年度、現国チームコーチ)に  
引率され、十月。  
フィンランドナショナルチーム五名、十  
月。実業団別大会出場、鉄鋼チーム、  
織維チーム。十一月。サウジアラビア遠  
征チーム。

飛松秀樹・足首骨変形部分の修正手術、  
(二月)。工藤慎康・膝ジン帯損傷、(一  
月)早田豊・ケイ稚手術(未定)。中口

## 故障部員の現況

( )内は稽古復帰予定期

飛松秀樹・足首骨変形部分の修正手術、  
(二月)。工藤慎康・膝ジン帯損傷、(一  
月)早田豊・ケイ稚手術(未定)。中口

21世紀へ向って…  
躍進する京葉ガス。

京葉ガス

生産部川山工場 本社 TEL 2727 南浦市川山南2丁目8-8 第6473(25/1121)大代

## 第一部歌

「若き潮」

昭和三十年、当時のスポーツ界に於ける、  
明治大学柔道部の活躍ぶりに想を得て松竹映

画が製作した学生柔道映画「若き潮」の主題歌

が映画封切り後、製作者より明大柔道部に寄

贈された。

この映画には松竹の要請もあって端役、や

エキストラで何人かの部員が出演した。

贈られた「若き潮」は当時の部員の間では

よく歌われていたが、年月と共に忘れられて

現役に伝える作業に入ることにした。先ずは

歌詞を紹介しておく。

四、  
以上、詞、曲ともや時代調で学生向きで  
はないかも知れないが近々、歌謡指導を行  
う予定である。

命の火を燃ゆる。

伝統と信用に輝く  
刃物用品の組合メーカー  
TANEI BRAND  
タネイの  
剣道衣  
柔道衣  
武道印  
武道用品の組合メーカー  
株式会社  
タネイ  
本社 愛知県名古屋市昭和区  
通 5555-67-11814  
26年度卒 種 井 育 三

料亭メンバーズ

な  
が  
い

名古屋市西区那古野町二一一一八  
(○五二)五五一ト一四四四四四  
五七一四六六八

永井 佑治(昭和三三年度)

紳士・婦人・子供  
各種

帽子の ミヤシタ

(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9  
新小岩銀座アーケード街  
電話 (651) 0691

葉子問屋  
鎌倉 ダンジョン

取締役社長 段上秀馬

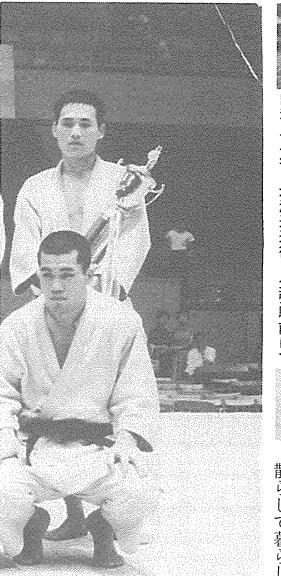
東京都墨田区本所4丁目11番5号  
電話 622-9121(代表)

大衆割烹 太洋  
橋本一郎

都営地下鉄三田線 蓼原駅前  
TEL (967) 9863

元気でやっています

徳 永 三 幸 (三三年度)



昭和三年 北海道遠征・夕張駅前にて

明柔会の皆様お変わりございませんか、ご無沙汰いたしております。今夏新潟の工場に転勤しました。故小林昇先輩が在籍されたところで仕事の面で、弁慶と云われた先輩の情熱とファイトに負けないように頑張っています。次で、小林敏邦君から懐しい声で原稿依頼の電話を貰った翌早朝、何を書こうか、まあ新聞でも読んでから考えようと目を通していると、学生日本一は小川(明大)の記事に思わず“ヤッタア、オイ、カアチャンキテミイ”となり久々の朗報に爽快な朝を迎えました。小川君おめでとう。これからが大変ですが益々の研鑽を願う。上村監督はじめ諸先生方にもお喜びを申し上げます。

当方卒業後二十八年が過ぎ白髪の方が多くなりましたが、気持は学生時代そのまゝで新潟名物の豪雪も歓散らして暮らしたいと張り切っています。最後に明柔会の益々の発展と学生諸氏の活躍をお祈りします。

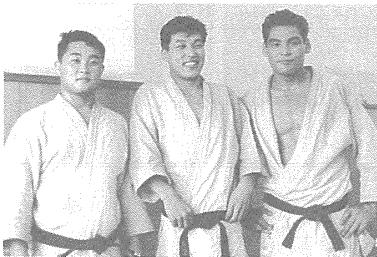
短信。永井君同級会の計画を樹てくれ。たのむ。

新潟県北蒲原郡中条町協和町  
二一四六  
自宅〇一五四一四四一六六八九



(現在  
自宅前にて)

元気でやっています



S 33. 10. 11. 明大道場にて  
徳山 操・小川登志雄・高島正美

### 小川 登志雄

(三三年度  
マネージャー)

柳三建副社長  
埼玉県春日部市在  
長男 篤子 東武百貨店勤務。  
長女 貢弘 法政大学在学中(ラグビー部員)



S 61. 1. 1. 初詣 武州鷺宮神社  
私・貢弘・範子・初子(妻)

元気でやっています



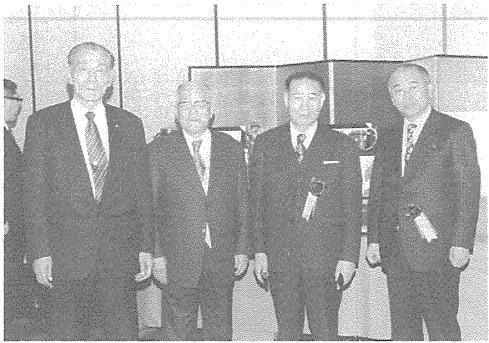
現在

「明柔」を編集される方に日頃のこ尽力に心から感謝申し上げます。現在、「ほねつき」業界(日本柔道整復師会)副会長、近畿ブロック、大阪府柔道整復師会の会長として頑張っております。最近では明治の後輩も柔整師の資格をとり、開業している人が増えているとか、心強く思っております。明柔会の益々の発展を祈念致します。

金 城 孝 治  
(三五年度  
大都市在)



重松正成 学生選手権優勝祝賀会にて  
(前列右より2人日本人)



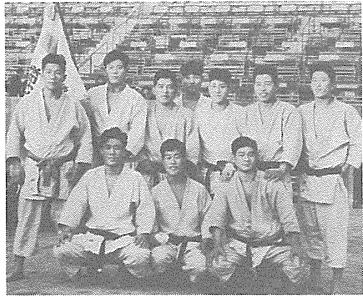
昭和50年(秋)創部70周年記念会  
亡き葉山先生を囲んで!!

## 思い出の一枚



昭和61年度 寒稽古風景

◀昭和27年 大阪遠征のスナップ



新人当時の私、後列右より3人目、  
明大柔道部の黄金時代・3連覇の一員として柔道  
部に席を居た事を今でも誇りに思って居ります。

北区浮間の印刷工場です  
“印刷の御用命はぜひ当社に!!”



元気でやっています

渡辺 欣 嗣 (二九年度)

卒業して早くも30数年!!仕事面でも亡くなつた曾根  
先輩を始め、多くの明柔会員の皆様に色々と御支援を  
頂き常日頃感謝している次第です、今後もよろしくお  
願い致します。

## 質問

- ①朝ニカボス汁、ご飯、みそ汁、卵、小魚、やりいか、ふき煮つけ、漬物  
昼ニ手づくり弁当

夜ニカツオのたたき、酢の物、野菜煮もの、漬物、紹碧

(泡盛) 5杯

- ②身長、体重、健康状態、血液型

③今年の会社(職業)に入った自動車と年月日

④木崎と目崎著「琉球の風水土」。沖縄の産業興しのための研究に有用

⑤沖縄は観光とともに一島一品運動を展開し、地場産業を育成して自立した経済を振興することが最大の課題。

そのため英知を結集したい

⑥責任のもてる顔になりたい

⑦十二~十三万円。本代を含め紹碧の店「みの和」での飲食が主。風土と歴史の探索柔道、テニス、スキー(信州で育つたため、かなりの腕前)

⑧女性は好きだが、表情の乏しい人は退屈

⑨現役のナウイ教師でますます張り切っているでしょう

⑩考えたこともない



泡盛の県外市場戦略  
をまとめた明治大学  
教授 政経学部  
柔道部部長  
百瀬 恵夫 (51)

# ひまわり記

山 口 県



まれて松村家の養子に入ったが、真じめで人一倍頼り屋だった彼の事であるから事業經營にも当然、手腕を発揮する筈である。藤井飯田と共にOBA会活動にも尽力してくれている。最近大分太めになつたと伝わつてゐるが、

た山口県からは七名のOBが出ていた。隣接の鹿児島県と比べると目立つて少ないが、全国的に見るとこの数は大体平均的なものである。

戦後、山口県から明大柔道部に進んだ一番手は、藤井洋二(三三年度)で新南陽市福川の出身、現在、若山石油㈱二代目社長として県内各地にその販売網をめぐらせている。学生時代の技は右の背負投であった。一七〇kg、六五kgほどの体格であったが軽量級に似合ふね腕力の持ち主であった。又上級生時にはそのおだやかな柄が後輩達に慕われたものである。(徳山高)。

三八年度の北村晋太郎(徳山高)は、東京オリンピックの候補に選ばれた好成績でその寝技に定評がある。

あつた。山陽道、入學時から着実に力をつけていった選手で、

下 松市の出身、現在市内でマージャン屋を経

営している。

北村の一年後輩、飯田弘昌(三九年度)は

藤井と同じく、新南陽市の出身で徳山高校か

ら明大に進んだ。現在、地元で経営者として

活躍しているが(飯田工業、旅館大正館)。

この点も藤井と同様である。OB会活動にもよく参加し、先般、県下の高校大会に赴いた

部関係者を地元の後輩松村と共に世話を

してくれたと報告されている。現役時の技は、

これも藤井と同じく背負投であった。四一年

度の陰塙級は防府の出であるが、高校は広

島の崇徳へ進んだ。現在、地元防府市陰塙

綱松社長で頑張っている。陰塙から十三年目

の明柔山口県出身者、松村孝明(旧姓事下憲)

は五一年度日本学生体重別、七階級に優勝している。いわゆる中量級ながら団体戦で

も活躍し、ポイントゲッターの存在だった。

生んでいる山口県であるが十一月の新人セレク

ションには、秋と下関から素晴らしい素質の高

こうして見ると、一番若い青野は、まだ郷里に落着ついているが確然の事だろう。

近年、青野、正司、松村(下瀬)と好選手を

加わる事を祈念しこの稿を終る事にする。

# わが母校 東海高等学校

伊藤彰朗



本校の特徴は先ず私立学校であり、國立学校では成し得ないユーモラスな教育が出来る事です。現代の世論に、道徳の低下、学力の低下が叫ばれていますが、本校は幅広い人間の育成をめざし教育の根本に宗教を置き、しかし宗派性に偏ることのない人間教育がされていました。又、本校が國立・私立・大立への進学についても常に立派な成績を示している所では自己共に認めていた所であります。本校は次の三つの教育目標を掲げています。

- 一、明照殿を敬い信念ある人となりましょう
- 二、勤儉誠実の校風を尊重してよい個性を養いましょう
- 三、平和日本のあるべき社会人となりましよう

本校の歴史は古く明治二十一年浄土宗によって淨土宗教師養成のため、愛知支校が創立されたのに始まる。

道場も教室と化してしまいました。この学校に再び柔道が復活したのは、昭和三十六年に佐藤守直教諭が東海高校体育科に奉職したことになります。これを契機に職員会議は柔道部を同好会として承認いたしました。まもなく、高校々長の林靈法先生や、中学校長の村瀬先生の御理解と御協力により豈が購入され、佐藤柔道の指導が始まりました。

当時はバスケット部と体操部の全盛時代であります。両部は連日猛練習に励み、二七・八年にはインターハイ出場を果しました。この間、発足間もない柔道部は同好会の弱身もあり十分な稽古場の確保もままならない状態でありましたが部員達の異常と言われる程の熱心さと努力で着々と地盤を固めてゆき、その熱意で部員數を増していきました。発足した年の十一月には早くも地区大会の優勝を果しましたが、柔道部が同好会から昇進してクラブとして正式に学校から承認され、一人前になったのは一年後の昭和二十七年のことであります。

その後、部は順調に成長し昭和三十三年の第七回全国高校柔道大会優勝の快挙を成し遂げました。また、現在まで三十二回をかぞえるインターハイ団体戦予選で二十八回優勝という記録も作っています。東海高校より明治大学へ在籍した者は永井佑治を頭に五名おります。三十三年卒の永井は現在名古屋市内でメンバーズ「ながい」を経営するかたわら、明柔会東海支部長として東海地区在住OBを統括しています。永井にはこれまで多くの部員達が、名古屋での大会などで世話をなっています。次男、永井博章君は現在東海高校柔道部

に在籍中で愛知県、七八四級チャンピオンです。同じ三十三年卒の酒井正雄は現在市内で家具販売店を經營しています。

明美会東海支部部会長として会長の永井を補佐している伊藤彰朗は三十四年卒(佛泉屋製菓社長)。伊藤はまた七宝町に「七宝道場」も開き、青少年への柔道の普及を行っています。榎本正は三十六年卒で在学中は主務として部に貢献しました。現在は「サンエイ」社長。榎本以降しばらく間があいたが若手には谷口淳がおります。彼は五十五年卒で現在愛知県警に勤務し、現役として活躍中です。以上五名のうち若い谷口以外は全て責任ある経営者の立場にある訳ですが、これも文武両道を目指した東海高校の伝統と教える賜物と言えましょ。

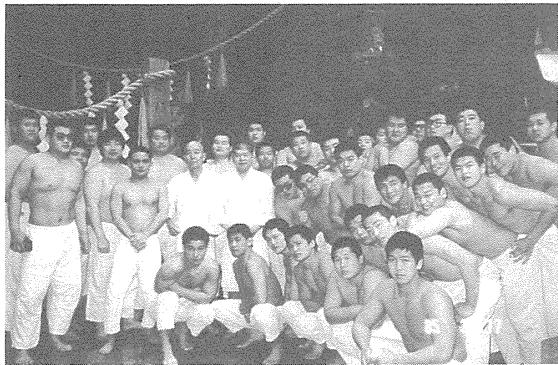
また、柔道部、レスリング部、プロレスそして芸能界を渡り歩いたサンダーバード杉山と杉山恒治の存在も忘れられません。彼は明大柔道部に在籍した時代もありました。現在活躍中の卒業生に、同志社大学へ進学し、その後角力へ転向した幕内力士「藤の川」の服部祐児君がおります。彼は東海高校時代の昭和五十五年インターハイ全国大会個人三位の実績を持つ柔道部出身者です。東海高校は県下に誇る存在も忘れられません。彼もひとえに戦後の困難な時期に努力された先輩方がおられたからこそであります。柔道について云えば、部再建の機会を作ってくれた佐藤守直先生の御努力は語りつくせないものがあります。先生の言われた「荒地を耕してダリアの花を咲かせる事は苦勞も多いが、花の咲いた喜びは又嬉しい」と「苦勞なんか忘れてしまつ」という言葉は今も我々の胸に生き続けています。(完)



昭和六十三年で立度創立百周年を迎えることになります。

現在では勉学のみならずスポーツの面でも数多くの優秀な人材を輩出していますが、その長い歴史の中では幾多の困難な時期も経験しています。特に戦時中は生徒も動員され、また戦後はその混乱期に十分な教育活動を実施することも出来ない時期がありました。終戦後はその復旧に力をそそぎ、昭和二十二年新制度によつて法人組織の東海中学校柔道部から柔道部の歴史を振り返つて見ますと、戦前の東海中学校柔道部からは幾多の高段者が生まれています。しかし戦争の為柔道は廃止され

# 強い絆で! BRINGING UP!



後輩に一層の支援を!!  
明柔会費納入のお願い

振り込み先

関東地区会員

東海銀行東京営業部

店番号 620 普預 432 326

明柔会関東支部 入江秀明

年間二、〇〇〇円

振り込み先

関東地区以外の会員

三菱銀行鉄鋼ビル支店

店番号 004 普預 4216342

明柔会 吉井敬吉

## 広告掲載のお願い!

会報“明柔”が57年に復活して以来今回まで順調に発刊されております。

これも偏に会員諸兄の御支援によるものであり、明大柔道部の団結を物語るものであります。さて、周知の様に会報の作成、発送等の経費は100パーセント会報の広告費で、まかなわれております。今後一層の協力を得て、より充実したものにして行きたいと思っております、何とぞよろしくお願ひいたします。

明柔会事務局

※広告掲載料 A) 1万円 B) 2万円 C) 3万円  
D) 5万円 E) 10万円

※お申込方法 A. B. C. D. E いずれかご希望を明記され  
広告文作成の上(便箋等任意の用紙にて)下記に  
お申し込み下さい。

〒110 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学体育課内 明柔会編集部宛

※代金お振込先 富士銀行 丸の内支店(店番号) 134  
(普通預金口座番号) 903156

明柔 代表 入江秀明 宛

※その他お気付の点等がございましたらご一報下さい。

連絡先 明治大学柔道部 03-295-4489

担当 渡辺英明

# 送襟 絞

## 九段 節雄 姿

### 節雄

送襟絞は受の背後より右手で受の右肩から前咽喉部にそえ、受の左襟を拇指を内にして出来るだけ深く握り、左手を受の左腋下より差し入れて受の右襟を右手と同じく拇指を内にして握り引きしぼるようにし、股間に制して絞めるのが普通であるが、また受の体側や立姿勢のまま絞める場合もある。

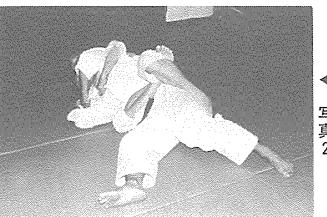
#### 一、「受を背後より股間に制して絞める方法」

この方法が送襟絞の普通の絞め方である。絞める場合は足を上(図1)、横(図2)またはうつ伏せ(図3)にして絞める方法等がある。



▲写真1

これらの場合の足の使い方はつきのとおりで、足で受を十分制して絞めにかかることが肝要である。  
(1)両脚で受の胸を挟み足首を組合わせて制する  
(2)この場合受が組んでいる足首に右または左の後足首

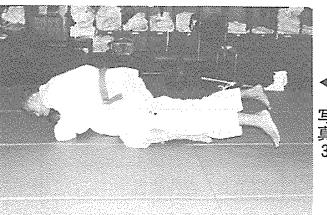


▲写真2

を引掛け、他の足の後関節を引掛け伸して頑張られると、その足首は抜けなくなり、体を反らして絞めることも困難になり、胴を制する場合、あまり下方で足を組合せ制しないようにすることが肝要である。  
(3)右足を受の後から前腹に膝関節以下を受の帶なりに当て、左後関節を右足首に引掛け、左足先を受の後腰に突込んで制する(図2)。  
(4)両足を受の両ももに当て制する(図4)。受が腹這い、四つ這い等の姿勢の場合、受の背後より馬乗りとなつて受の制し方は足の長い人に特に有効である。

この制し方は足の長い人には特に有効である。

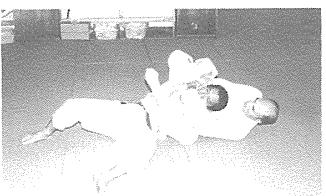
(5)両足を受の両ももに当て制する(図4)。受が腹這い、四つ這い等の姿勢の場合、受の背後より馬乗りとなつて受の制し方は足の長い人には特に有効である。



▲写真3

体を背なりにして絞める(図3)。  
(1)右足を受の右肩に引掛けで踏み伸ばして絞める。または右足を受の二の腕に引掛けで受の頑張っている右手の固めをゆるめて絞める(図5)。

(2)右膝関節を受の右肩から左手首の上に引掛け、左足とともに巧妙に使用し、受の体の動きを制して絞めなければならぬ。前記(1)の方方法で受を絞めにかかると受は左右両手で取の右奥袖、または受の右横襟を引張りつつ体をそらして頑張る。その時、取は組合せている足または太ももに当て



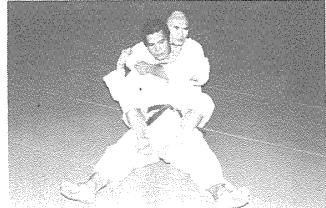
▲写真4

いる足を解き、両足先を効かせて受の体をズリ下し(3)、(4)に変化して絞めるのである。

また受は防護の方法として左右の手を交叉し、受自身の左右の両襟襟を握り、頸を引込みて腋を固め頑張る場合も、前記のとおり足の固めを解き、右足を(3)、(4)の方法に変化し、受の防御の固めをゆるめて絞める効果がある。

つきに取は受の左腋下から差し入れた左手で受の左手首を内側より握り、ムシリとるように後に引張り、受の左手を制して右手を効かして絞める方法もある。

#### 二、「受を体側より絞める方法」



▲写真4



▲写真5

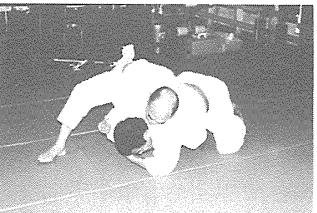
受が中腰、四つ違い、腹違い等になつていて、取は図7のごとく受の右体側より右膝立ての姿勢で右手を受の右肩さきより通り、受の左横襟を拇指を内にして握り、左手は受の左腋下を通して受の右横襟を拇指を内にして握り、受を右前隅に引き崩しながら絞める。またこの場合、腰を返して(図8)左足を前に出し、右足を引き左腰が受の右横首に接触するよ

うにして受を右前隅に引き崩しながら絞まる。この絞めの場合、取は不用意に左手を受の左腋下に差し込むと、受の左腋下に挿み固められ、同体で一回転されて抑込みに反撃されるので、この場合、取は体を受の右肩さきにさばいて返されぬよう注意することが大切である。

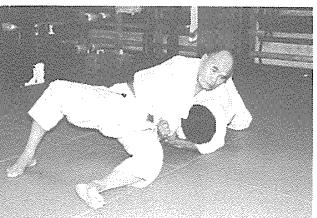
### 三、「受を立姿勢で絞める方法」

一本背負投等受が背を向けて攻めてきた場合、その投技をはずし、背後に廻り込み右手で受の左前襟を握っている手はそのままにし、左手は受の左腋下より通して受の右肩さきにさばいて返されぬよう注意することが大切である。

▲写真7

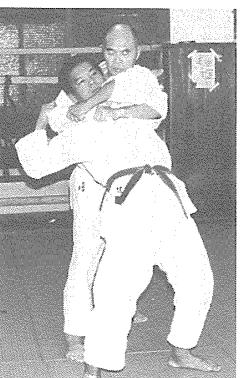


▲写真8

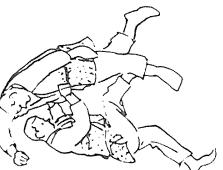


指を内にして握り、後に引き崩しながら絞める(図9)。

取り 九段 姿 節雄  
受け 三段 辻 純一



▲写真9



## アジア大会柔道競技の報告

全柔連強化ヘッドコーチ  
明治大学柔道部監督

上村 春樹



はじめに

柔道は今回のアジア大会に初めて正式競技として採用された。今までアジア地区での柔道競技は、独自にアジア選手権大会として二年に一回開催してきた。その中で日本は常に抜群の力でアジアのトップの位置を占めてきた。しかし、ソウル五輪を目指して強化を進める韓国は、近年目覚ましく台頭してきた。昨年のロス五輪、昨年の世界選手権大会での金メダル獲得数を見てもわかるように、日本四個、韓国三個、他の国が二個と韓国の力は日本に次ぐ勢力になつた。年々世界柔道の中で苦戦を強いられて来ている日本柔道であるが、世界のトップの位置を守るべく、強化委員会を中心的に積極的に対策に取り組んできた。具体的には強化選手を対象にした年七回の合宿を行い、体力にものをいわせたポイント柔道が主流を占める世界柔道の現況をふまえて基本的トレーニング(得意技の強化、新しい技術の修得)を重ねて來た他、優

VTRを活用した外人選手攻略のための技術や戦術の研究等に取り組んできた。

又、科学的研究部の協力を得て、生理面の問題点を掘りさげ、特に精神面の強化対策につとめた。同時に国際審判規定と厳しい国際試合環境になれるための、国際交流を活発に行ない競技力向上にも努めてきた。

今年は五輪、世界選手権大会のない間の年あたり、強化委員会では二年のソウル五輪を目指して、強化スタッフを新体制とした。醍醐強化委員長のもとに、男子強化部に松下部長・関根副部長が就任し、コーチ陣もヘッドコーチが佐藤から上村へ変り、また従来のコーチ藤猪・南に加え、新たに吉村・野瀬が起用され、現場で選手強化に当たることになった。本大会は柔道が初めてアジア大会の正式種目となつた記念すべき大会で、新スタッフにとってはじめてのビックイベントであった。

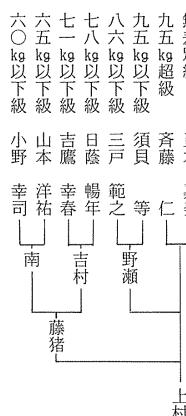
又、今大会は日韓対抗戦的要素が強く、対韓国選手を意識した強化対策に重点を置いてコーチ陣も全力を上げて強化にあたつた。

(選手選考経過)

七月十三日(日)の最終選考会終了後、強化委員会を開催し選手選考を行なつた。選考には四月の全国体重別選手権大会(第一次選考会)、全日本選手権大会、七月の全日本選抜体重別選手権大会(最終選考会)及び、昨年の世界選手権大会以降の国際大会での成績を考慮し、国際大会に強い選手、優

勝を狙える選手、八名の代表選手を選考した。又、試今に向け、コーチは担当分野を明確にし、マン・ツー・マン方式で代表選手の強化を責任をもって担当するようにした。さらに、現地での練習相手となる支援選手団（全日本大学体重別選手権大会の優勝者）の決定も行なった。

△代表選手とコーチの担当区分▽



（大会へ向けての強化対策）

七月十三日の選手決定後、下記の日程で五回の強化合宿を行ない、基礎体力の向上、得意技の充実、寝技の強化、又、対韓国戦を意識した組み手の研究、脇固、カニバサミ対策、VTRを使った研究等を積極的に行なった。

△第一回強化合宿（代表選手他二八名）▽

八月五日～十一日、七日間、延岡市体育館  
夏の延岡で徹底的に鍛える目的で、練習相手に旭化成、宮



△第二回強化合宿（代表選手他六五名）▽

八月二四日～三〇日  
七日間、講道館  
A・B・Cの強化選手全員を集め、在京の

大学学生を練習相手に、アジア大会の代表選手を中心して強化を行なった。又、アジア大会の代表選手

を使つた韓国選手の研究・分析、脇固、カニバサミ等の対策を行なった。又、元立ち練習、投げ込み等による得意技の充実

△第三回強化合宿（代表選手他二八名）▽

八月三〇日～九月三日、五日間、北見市体育館  
打ち込みを中心とした得意技の強化、整備、又、VTRを

△第四回強化合宿（代表選手他二七名）▽  
九月八日～十三日、六日間、講道館  
鍛える最後の合宿、試合を想定した乱取稽古、打ち込み、投げ込みによる得意技、連絡技の整備、調整を中心に行なつた。

△第五回強化合宿（代表選手八名）▽

九月三日～二七日、五日間、講道館  
最初の試合まで一週間と近づいたため、各選手の日程にあわせた調整合宿とし、体重制限のある選手は本格的な減量に入つたため、練習と休養のバランスを考え、疲れが残らないよう配慮して実施した。

△柔道チームの日程▽

柔道の試合日程はアジア大会後半（十月一日～四日）であったため、練習相手の豊富な東京で、ギリギリまで調整練習を行ないソウルへ乗り込むことにした。現地での四日間の最終調整は支援グループを相手にソウル市内の柔道アカデミイにて行なった。

九月二七日 東京発

二八日 調整練習

二九日 "

小野、長身のラクシュ

行なつた。今回は合宿が続いたため、疲労を残さないように気をつけた。

△試合経過と戦評▽

十月 三一日 試合 六〇 kg 以下級、六五 kg 以下級  
二二日 " " 七一 kg " " 七八 kg  
三三日 " " 八六 kg " " 九五 kg  
三四日 " " " " " " 九五 kg 超級、無差別級  
四五日 " " " " " " 九五 kg 超級、無差別級  
五六日 閉会式  
六六日 ソウル発  
七七日 解団式



崎嶋警、天理大、國士館大、明治大を集め、基礎体力の向上（R.T.、W.T.、C.T.）打ち込み元立ち練習、投げ込み等による得意技の充実の実技の強化を行なった。

に対し、大外刈で「技有」、一分十四秒体落しで大きく飛ばし「一本」

▼二回戦 小野○（反則勝） コダダディ（イラン）

コダダディ場外で逃げ出し、「注意」防戦一方のコダダディを小野足をとつての大内刈は「効果」三分十四秒、消極的な攻撃でコダダディに「警告」さらに四分十八秒、同じ反則で「反則負け」となる。

▼決勝戦 小野（背負投）○キム・ジョブ（韓国）

開始早々、キムの出足払に小野膝をつく。その後、小野、キムの内股をすかし寝技で攻めるが決めきれず。二分過ぎキムの横捨身に再度膝をつく。三分、場外際でかけたキムの背負投を一度とめたが見えたが、大きく飛び「一本」となる。

△戦評△

小野は、アジア大会二次合宿で足首を捻挫し、三次、四次合宿では打ち込み程度しか練習できなかつた。しかし、大会当日には若干のスタミナ面の不安は残つたが、小野本来のスピードイニシアチフがもどってきた。

小野はここ一年で、技の切れ、スピードはついてきたが、まだパワーフ不足である。優勝したキムはパワーがある、このキムに対し、小野は力負けし、組み手が充分に出来ず、小野本来の柔道ができなかつた。

今後、小野が世界のトップを目指すためには、基礎体力の向上、組み手の改善等早急に行なわなければならない課題である。

その為には、ウエイトトレーニング等によりパワーア

ップを図るのは勿論であるが、普段の練習より、自分より二階級、三階級上の重いクラスの選手と、もつともと練習し得意技の威力アップ、組み手の強化を行なわなければならぬ。

△戦評△



小野（60kg級）決勝で負ける

（六五kg以下級）山本洋祐が登場

▼一回戦 山本○（背負投） ビヤラ（インド）

組んですぐ、山本、背負投にて大きく飛ばし「一本」。

二三秒。

▼二回戦 山本○（送襟絞） オーウンユウ（香港）

山本、すくい投げからぶして寝技で攻める。うまく上になり横三角から一回転し、オーウンユウが立ち上がって逃れようとする所を送襟絞にてとめる。五八秒。

▼準決勝戦 吉鷹○（腕挫十字固） 朱良河（中国）

二九秒、両者に教育的指導。吉鷹背負投を連発する。二分すぎ、背後についた吉鷹しつこく寝技に持ち込み、関節技にて「一本」。

△戦評△

吉鷹（優勢勝）③アン・ビヨンゲン（韓国）

吉鷹、積極的に組もうと前へ出て、片襟をもって誘う。アンは体をかがめ慎重に組み手をとる。両者の軽い動きの中、四六秒、アンの左背負投に吉鷹たまらず横転し「有効」、アンの動きがにわかによくなり一分四秒、再び膝つきの背負投に吉鷹こらえられず「有効」。吉鷹、反撃に出る。四分すぎ左背負投できれいにかつて、アン体をひねって落ち審判のコールなし。更に守るアンを追うが、アン守りきって吉鷹を退ける。

△戦評△

山本は、全合宿を通じて順調な仕上がりであった。決勝戦で韓国のリードに判定で敗れたが、内容的には山本の勝ちのケースであった。

今大会での山本は良く攻めてはいたが、リードで決定的なポイントが取れなかつたのは、キツチリと相手をつかまえて技をかけていないので、技が中途半端になつてしまつたのと攻めが単調になつてしまつたことにより、せつかくないとこれまで迫つめながら、決定打をとることができなかつた。

今後、山本が組めない相手、又、逃げる相手に確実にポイントを上げ勝ついくためには、早急に組み手の強化、新しい連絡技の修得、攻めのバターンの拡充を図つていかねばならない。

一方、ロス五輪・ソウル世界選手権覇者である韓国のアンは減量苦からか、試合そのものに精彩を欠き、今一つ切れ味の悪い柔道だった。

この両者を見ると、明らかに吉鷹優位と感じられ、本人も決勝戦にはかなりの気迫又自信を持って臨んだ。だが、その気持ちが逆に働き、自分の柔道を忘れさせてしまった。逆に落ち着き払い、機を見るに敏感な安の前にすっかり封じ込まれてしまった。勝負に対する精神力の差が、そのまま勝負の結果として表れた試合であった。

今後、世界選手権・オリエンピックへ向け、早急に精神面の養成を行なって行きたい。

### (七八kg以下級) 日蔭暢年が出場

#### ▼二回戦 不戦勝

日蔭(優勝) (送襟絞) ガンジー(イラン)

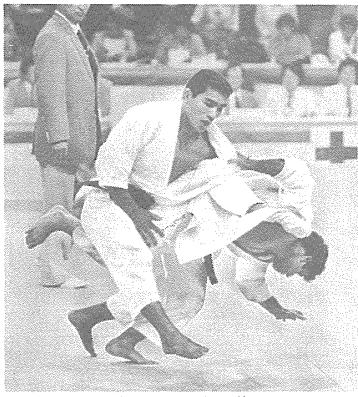
ガンジー場外へ逃げ「注意」。三二秒日蔭の出足払は「技有り」。続いて抑込みに入るが逃げられる。そのまま、すかさず送襟絞に決め「一本」。五八秒。

#### ▼準決勝 日蔭(優勝) (ヨーロッパ・ヒュンス(韓国)

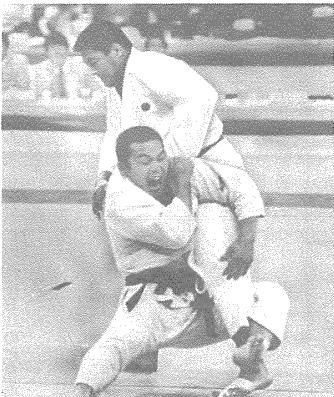
事実上の決勝戦に会場もり上がる。ヨーロッパは組み手争いで徹底的に奥襟を嫌い、捨身技を連発する。「二分」七秒、日蔭の小内刈はヨーロッパバイで防ぐ。「二分四八秒、ヨーロッパの坐り込み背負投に日蔭横につく。ヨーロッパ手で日蔭の膝を制しつつ更に押せば、日蔭一横転して「効果」。日蔭、挽回せんと積極的に前出るが、ヨーロッパ組ませず。四分両者に「指導」。ベテラン日蔭も自分の柔道ができない敗退。

#### △戦評

日蔭は第一回合宿で、足首を捻挫し不安なスタートであったが、その後のベテランらしい隙々に調子を上げる調整で、選手村入りするころには、減量もうまくいき、気合の入った姿がみられた。稽古量も充分な日蔭にとって不安材料といえば、年齢からくるスタミナ面での問題だけであった。しかし、世界選手権一連勝の日蔭には多少の事では負けられない意地



吉鷹(71kg級) 2位



日蔭(78kg級) 準決勝で敗れる

があり、周囲からの期待にも充分応えうる実力も備わっているはずであった。

準決勝で早くも強敵、神戸ユニバーのチャンピオンである韓国のヨーとの対戦となつたが、技術・体力・精神面でも日蔭の相手ではないと思われた。だが、相手に組ませず、相手が無理に出てくるところを狙い技を掛る趙の柔道に日蔭の気合は空廻りし、完全にペースを狂わされ、相手のリズムにはまつてしまつた。勝つためには、なり振り構わぬ柔道をする執念に日蔭は、敗れたと言えるだろう。

日蔭は年齢的にはビーケ期をしてはいるが、世界に通用する技術・体力をもつてゐる。今後、組ませず逃げまわる相手

でも確実にポイントを上げられるように、組み手の多様化を早急に行ない再起を図らせて下さい。

#### △(八六kg以下級) 三戸範之が出場

##### ▼一回戦 三戸(○)(合せ技) ハサホディン(タイ)

三戸、組んですぐ大内刈で「技有り」。その後、横四方固に決め合せて「一本」。

##### ▼準決勝 三戸(○)(合せ技) アル・トマンド

三戸、内股で「技有り」。続いて帶取り返しから横四方固でガッチャリ決める。

##### △決勝戦 三戸(優勢勝) パク・キヨンホ(韓国)

長身のパクに対し、三戸積極的に組みに行く。パク捨身のかニバサミは三戸うまくさげ。二分過ぎ、パクの大外刈を三戸うまく返し、寝技で攻め横四方固に入ったと思われたが、審判の理解できない「また」のコール。パク窮屈地を逃れる。その後、防御に廻るパクを三戸追うが時間。判定はパクへ。

#### △戦評

三戸は国際的な選手権へ初挑戦のため、試合場の韓国応援団の異様なムードにのまれはしないかと多少の不安はあった。しかし、「一回戦、準決勝一本勝ちを納め、決勝のパク戦でもいけると思っていたが、パクの徹底的に組ませない戦法にとまどい、自分の柔道を忘れ、まったくいい所が出せないまま終ってしまった。ただ、この試合においても審判の不公平さが目立ち、三戸がもう少しで抑え込みに入ろうとするのを

「まで」で立たせたり、明らかに場外注意なのに見逃がしたり三戸は勝つチャンスをつぶされてしまった。今後もこの階級は日本が最も苦しいクラスであり、益々厳しい戦いが続くと思われるが、長期的観点に立った世界へ通用する選手の発掘、強化対策を早急に図っていかねばならないものと考える。

(九五kg以下級) 須貝等が出場

▼一回戦 シード

▼準決勝戦 須貝○(内股) カワス(インド)

須貝 細んですぐの内股で「一本」二〇秒。(韓国)

▼決勝戦 須貝(優勢勝) □ハー・ヒヨンズ(韓国)

ロス五輪優勝のハーと昨年の世界選手権者の須貝の対決に場内沸く。ハーは右、須貝左のケンカ四つ。ハーの大外刈は須貝腰を引いて引き手を切る。須貝十分な組み手からの内股はきれいに浮いたが「効果」ハーは頭を支えため逆込みで、足の内股は不充分。ハーに勝負を出る。「一本五四秒須貝が左足を踏み込むところ、ハー送足払いに行けば大きく浮き、主審は「有効」副審に訂正され「技有り」となる。

実力者同志間断ない攻撃が続く、残り四七秒須貝逆転を狙つての体落ちは主審「有効」副審の訂正により「効果」。後はハーチームまず時間。須貝涙のむ。

△戦評

須貝は、今大会において決勝で韓国のハーと対戦し負けた



齊藤(95kg超級) 優勝

元来、力は持っている選手であり、調子を取りもどせば、アジア大会では相手になる選手はない、予想にたがわず試合は全部一本勝ちで優勝を決めた。

齊藤は今回のアジア大会へ向けての合宿等により、昨年のケガ以降の課題であった、技術面での改善、精神面の強化を達成しての優勝は、今後の日本重量級の安泰を正木と共に感じさせてくれた。

が、内容は決して負けのケースではなかった。ハーロス内股、体落しで追いつめながら、チョットしたすきに逆転の足払いを食ってしまった。実力からすると須貝の方が一枚上であつたが、審判の不公平な判断によりハーは助けられた感がある。ハー自身も須貝に勝てなくなっていることを悟ったと思われる。

今後、須貝はアジア大会の経験を生かし、もっと組み手の研究をし、又技を掛け際は最後まで思い切つてかけることを心掛け、常日頃から練習に取り組めば、このクラスにおいて世界無敵になれると確信する。

(九五kg超級) 齊藤仁が出場

▼一回戦 シード

▼準決勝戦 齊藤○(内股) ガジャール(インド)

齊藤 細んですぐの内股で大きく飛ばし「一本」。

▼決勝戦 齊藤○(合せ清) 徐國清(中国)

二回戦の徐に対し、齊藤は内股、大外刈で攻め、追い込んで

から体落しで徐をつくり崩れ落ち、「技有り」そのままがつちり本袈裟固に決め合せて「一本」。金メダルを獲得。

△戦評

齊藤は昨年のソウルでの世界選手権大会で、腕を脱臼して以来、技術面、精神面でも低迷を続けてきた。しかし今回代表となり、合宿を重ねる毎に調子を上げ、最終合宿時点ではほぼケガ前の状態に近いところまでもっていくことができた。

(無差別級) 正木嘉美が出場

▼一回戦 シード

▼準決勝戦 正木○(払い腰) シン・ブンヌ(インド)

シンは四二才の選手。正木と堂々と組むが、正木の払い腰にたまらず飛ぶ。(三三秒)。

▼決勝戦 正木○(優勢勝) チョー(韓国)

昨年の世界選手権九五kg超級優勝のチョーと無差別級優勝の正木の対戦。正木最初から積極的に攻める。正木の払い腰はチョー体を開いて残す。出足払いも計算の上、つけめ返しで応じて倒れたところを正木絞めに行。チョー指をつかんでの防護、それに主審が「注意」しかし、副審との合議のうち「指導」に訂正。正木、出足を牽制しての払い腰にて攻めた。チョーに「教育的指導」。

△戦評

昨年、ケガをして苦しい戦いであった神戸ユニバーサルでの優勝、又、齊藤のケガにより急速起用された世界選手権大会での優勝、さらに今年の全日日本選手権大会での優勝は正木を大きく成長させた。日本を代表する選手としての自觉をもち、合宿等でも積極的に取り組む姿勢は益々正木を強くしていった。今回のチョー戦では一本勝ちこそできなかつたが、闘志をむき出しにし、一方的な試合で勝ち、世界無差別級チャンピオンの貫録を見させてくれた。

## △反省と今後の課題



韓国選手が大活躍した柔道会場

今回、我々柔道チームはアジア大会へ望むに当り、韓国の戦力分析を綿密に行ない、金メダルの目標を八階級の内五個とした。具体的に言えば、小野一朗、山本一朗、吉鷗一朗、日陰一郎、の四階級で三個、三戸一朗、須賀一朗、齊藤一朗、正木(無差別)の四階級で三個という目算であつた。しかし、この目算がことごとく崩れてしまい、軽量クラスから始まつた大会は、初日から韓国に六連敗といふ、かつて日本チームが経験したことのない屈辱を味わわされ、金メダル獲得数も日本二個、韓国六個という結果になってしまった。たしかに審判の不公平な判定、試合の進め方という問題はあつたが、それ以上に韓国選手のすさまじいまでの勝負に対する執念が強く印象に残つた。会場内の異常なまでの応援に韓国選手は燃えに燃え、日本選手との対戦には、ものすごい気迫を持ち試合に望んできた。この気迫と韓国に有利となる意識的な審判により日本選手の調子はくるわざれてしまい、はなはだ不本意な成績に終つてしまつた。

我々としては、今回の結果を謙虚に受け止め反省し、ここで全柔道人の英知を結集し、長期的展望に立った抜本的対策を考え、実施していかねばならない。しかし、二年後にソウル五輪で今回の失敗をくり返さないよう、早急に今まで強化対策の見直しを図り、当面の強化対策の充実を図る一方、あわせて長期的展望に立った抜本的対策を考えて行きたい。

今回は直面しているソウル五輪の為の具体的強化対策としては、次の事が上げられる。

### (1)強化合宿の充実

#### ①月一回強化合宿の実施

常時合宿体制にしたいが、企業・学校・官庁に所属する選手達を年間を通じ拘束するのは難しい、ゆえに現合宿の年間七回を十二回に増やす。

#### ②グループ合宿の充実

現在、各担当コーチの責任で通常の強化合宿の外に階級

毎に二~三名のグループで年一~二回必要に応じ合宿を行なっているが、この頻度を増やす。

#### ③海外合宿の有効活用

今年より海外合宿を開始したが、外人選手を良く理解する為には海外で一諸に生活し、練習をやるのが一番早く、より有効な海外合宿の計画を練りたい。

#### ④特別コーチの有効活用

現在、年間二回の合宿に、特別コーチとして世界チャンピオン経験者、技術指導をお願いしているが、これを各合宿毎にお願いし、幅広い範囲の選手を見させソウル五輪の為の強化選手の指定

現強化選手の中でソウル五輪の為の強化選手を指定し集中的に強化を図る。又、その選手達の試合スケジュールも一元管理し、あくまでもソウル五輪中心に強化を図りたい。

### (3)所属指導者との連携指導の強化

全日本の強化合宿と所属部の連携プレーにより、強化選

## 三進工業株式会社

取締役社長 三船 芳郎

工場製作品 各種塔構類 各種圧力容器  
建設工事 (国内及び海外)  
プラント 石油、化学、製紙、製糖、製塩  
環境装置 都市地盤浴槽設置、清掃工場、  
汚水処理装置、排煙脱硫、  
脱硝装置  
鉄構 高層型煙突、導水钢管、扶  
梯、橋梁、水門扉、大型起機  
産業機械 製鉄機械、プレス、クレーン、  
原子力機器、その他

本社工場=川崎市川崎区小島町4番4号 平210  
電話川崎(044) 266-0261(代表)  
建設機械センター=川崎市川崎区日出1丁目10番1号平210  
電話川崎(044) 266-0273(代表)

手を年間通じて統一した強化方針で強化を図る。その為には定期的な連絡会議を実施する。  
(4)合宿内容の見直し

### (5)地区担当コーチの任命

以上

株式会社アリス

代表取締役 佐々木充行  
(41年度卒)

東京 営業所 〒103 東京都中央区日本橋久松町13-5  
和洋第6ビル5F  
TEL (03) 667-1666 番  
テレックス (03) 667-1668 番  
本社 〒79-33 徳島県美馬郡神河町大字伊勢802番  
TEL (08835) 2-1138 番  
大阪 営業所 〒541 大阪市東区安土町1-22-1  
プライムビル3F-302 4F-402  
TEL (06) 264-6285 番(直通) (4)

### 広告総合代理店

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ広告取扱い  
CM、デザイン製作、アイディア商品  
各種ノベルティ開発販売、市場調査、  
コンサルティング業務

各種ウエス 工業用クリーニング  
安全用具一式

### (株)立花商店

代長取締役  
立花 敏明  
(34年度卒)

〒720 広島県福山市港町2-77  
TEL 0849-23-0180

輸出入・国内取引  
鉄鉱石・その他鉄鋼原材料の輸入及び  
鉄鋼製品の輸出

### 東南貿易株式会社

社長 根本 静夫

千代田区大手町2-6-2 日本ビル6階  
TEL (279) 2771-5

**雄和企画株式会社**  
代表取締役 田中 章雄

東京都港区東新橋1-2-11 三陸ビル  
電話(03) 572-2737代

小川君の優勝感が良かっただですね。日本学生優勝大会(団体)のタイトルに次ぐ大きなものであります。神永先生の祝辞もありましたが、一層氣を引きしめて、次の目標に向って邁進して下さい。又部員諸君は団体優勝が我々の最終目標である事を肝に命じて下さい。最近、若手の意見や近況報告がやや少ないのです。という意見がきかれているので、今は右手のOBを中心に寄稿の依頼をしました。彼等は忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。回は右手のOBを中心として寄稿をしました。

彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。

小川君の優勝感が良かっただですね。日本学生優勝大会(団体)のタイトルに次ぐ大きなものであります。神永先生の祝辞もありましたが、一層氣を引きしめて、次の目標に向って邁進して下さい。又部員諸君は団体優勝が我々の最終目標である事を肝に命じて下さい。最近、若手の意見や近況報告がやや少ないのです。という意見がきかれているので、今は右手のOBを中心として寄稿をしました。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。

小川君の優勝感が良かっただですね。日本学生優勝大会(団体)のタイトルに次ぐ大きなものであります。神永先生の祝辞もありましたが、一層氣を引きしめて、次の目標に向って邁進して下さい。又部員諸君は団体優勝が我々の最終目標である事を肝に命じて下さい。最近、若手の意見や近況報告がやや少ないのです。という意見がきかれているので、今は右手のOBを中心として寄稿をしました。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。

小川君の優勝感が良かっただですね。日本学生優勝大会(団体)のタイトルに次ぐ大きなものであります。神永先生の祝辞もありましたが、一層氣を引きしめて、次の目標に向って邁進して下さい。又部員諸君は団体優勝が我々の最終目標である事を肝に命じて下さい。最近、若手の意見や近況報告がやや少ないのです。という意見がきかれているので、今は右手のOBを中心として寄稿をしました。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。彼らは忙がしい年代でもあり、当方に、多少の懸念はあったのですが、結果、「諾」の少なさは予想をはるかに越えるものでした。

上村監督が全柔連の強化へ、ヘッドコーチに就任しました。一層、忙がしくなった訳ですが、その中で、最初の仕事、アシア五輪柔道の様子を関係者の立場から書いて貰いました。金日本チームの現況も併せて記されており、いえ、他校に比べて明治は非常に恵まれていることを忘れてはなりません。次号では、中央競馬会、博報堂、東京消防庁、を紹介します。

上村監督が全柔連の強化へ、ヘッドコーチに就任しました。一層、忙がしくなった訳ですが、その中で、最初の仕事、アシア五輪柔道の様子を関係者の立場から書いて貰いました。金日本チームの現況も併せて記されており、いえ、他校に比べて明治は非常に恵まれていることを忘れてはなりません。次号では、中央競馬会、博報堂、東京消防庁、を紹介します。

上村監督が全柔連の強化へ、ヘッドコーチに就任しました。一層、忙がしくなった訳ですが、その中で、最初の仕事、アシア五輪柔道の様子を関係者の立場から書いて貰いました。金日本チームの現況も併せて記されており、いえ、他校に比べて明治は非常に恵まれていることを忘れてはなりません。次号では、中央競馬会、博報堂、東京消防庁、を紹介します。

明 秉		年 回 発 行
編集人	神 一 田 和 夫	昭和六十一年十二月二十五日発行
発行所	明治大学体育会柔道部	
東京都千代田区神田駿河台一	明治大学体育会課内	
○三一九二九五〇四四八九	印刷所	東京都千代田区神田三崎町二
二一工事場	発行所	二二六二二四六二五
三一九六七一九三二七五	東京千代田区神田駿河台一	

株式会社 三 協  
〒354 埼玉県入間郡三芳町上高2290-3  
電話 0492-58-5771 普(代)

清 水 敏 雄・光 雄

(ダイレクトメールの専門、宛名の事務、付人作業  
(ペルクウェイリントンセンターによる高級入及手封人)  
(マナクラフトドライリングシステムによる高級宛名ペル封付  
書類、雑誌、カセット等の納品、発送、セットアップ、アンセブリ  
在庫管理、貯庫業)

## 中華麺 大 盛 軒

有限公司 小 寺 商 事  
代表取締役 村 上 京 彬

柳町店……西武池袋線丸古田駅前 電話 (958) 7890  
中野店……JR鶯武線中野駅前 電話 (371) 5743

## 春日接骨院

春 日 邦 人 (昭和37年卒業)  
〒189 東村山市富士見町1-177  
電話 0423-93-5669

新しいオフィスづくりに取り組む  
**株式会社 町山事務機**

代表取締役 町 山 良 行 (昭和37年卒業)  
本社 川崎市多摩区東生田1-13-1  
TEL (044) 933-3311  
ファックス (044) 933-3618 (GIII)

## 渋 谷 接 骨 院

根本整骨研究会理事  
大田区柔道会常任理事  
大田区立志茂田中学校講師

渋 谷 正 久

西六郷診療所：〒144 東京都大田区西六郷2-29-3  
TEL 03(733) 0856  
久ヶ崎診療所：〒146 東京都大田区久ヶ崎2-8-13  
TEL 03(757) 3336  
自 然：〒145 東京都大田区北沢5-11-6  
TEL 03(720) 0478

## 送電線路建設工事設計施工 **高田電設株式会社**



取締役社長 高田 喜 之  
(昭和30年度卒)

本社 東京都新宿区大久保1-10-4  
電話 03(209) 8241 (代表)  
支社・出張所 仙台・名古屋・札幌

村木晃  
有 限 会 社  
工 斯 工 一 商 事  
代 表 取 締 役

## 飯塚接骨院

飯塚 明

品川区南大井4-4-2  
(763) 3270

食肉業界に奉仕する中島グループ

中島興業株式会社 代表取締役 中島平人  
中島畜産食品株式会社 水谷武史  
日本栄養食品株式会社 総合本社  
中島畜産市場仲買株式会社 東京都豊田区太平1-6  
弘友食品株式会社 東京都豊田区太平2-12-1  
電話 03(525) 4129(429)

## 娛 樂 の 殿 堂

「みとやホール」

水道橋・神田・新宿・浅草・三河島・上野

## 喫茶・パブ・レストラン

「山 の 音」

水道橋・鶯谷・浅草

お近くにお越の際は  
是非お立ち寄り下さい!!

代表取締役 中野 一郎

## 育栄管財株式会社

## 育栄警備保障(株)

社 長 鳴 海 誠 一



本 社 新宿区百人町1-22-26  
(3-6-3) 6351 1 代表  
青森出張所 三沢市米町1-31-142  
TEL 01765(3) 6678  
札幌出張所 札幌市豊平区美園西町5丁目(3光ビル)  
TEL 011(811) 1899

## ——商業手形割引専門商社——

東京都知事登録  
**杉原産業株式会社**

取締役社長 杉 原 構

東京都中央卸売市場大森市場  
海老、塩干加工品問屋

海 老 晃

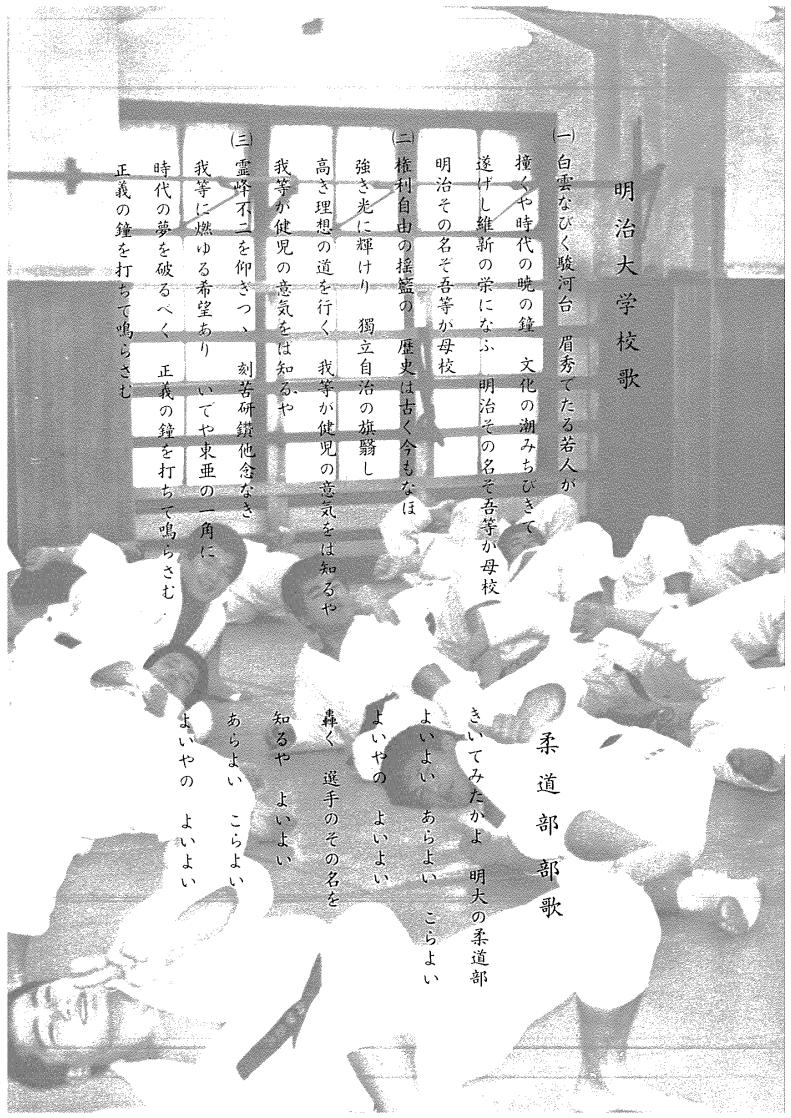
（371）5111 代表

東京都新宿区西新宿7-13-9(ムトウビル)  
新宿警察署そば

(31年卒)

代表取締役社長 滝 本 満 治

本社 東京都大田区大森本町2丁目2番10号  
電話 (764) 2876



共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売

有限会社 男鹿興業社

代表取締役社長 国 安 均



本 社 秋田県男鹿市船川港船川字化世沢178  
TEL (0185) 23-3293(代)  
秋田営業所 秋田県秋田市川尻町字川口境61-142  
TEL (0188) 35-3362

おがなまはげ油給油所

秋田県男鹿市船川港船川字化世沢 178 TEL (0185) 24-3292

鹿渡なまはげ給油所

秋田県山本郡琴丘町鹿渡字西小瀬川69 TEL (0185) 87-2316